



RESAS（地域経済分析システム）

分析事例

埼玉県和光市

2019年7月

関東経済産業局

STEP1

地域経済の全体像を把握する

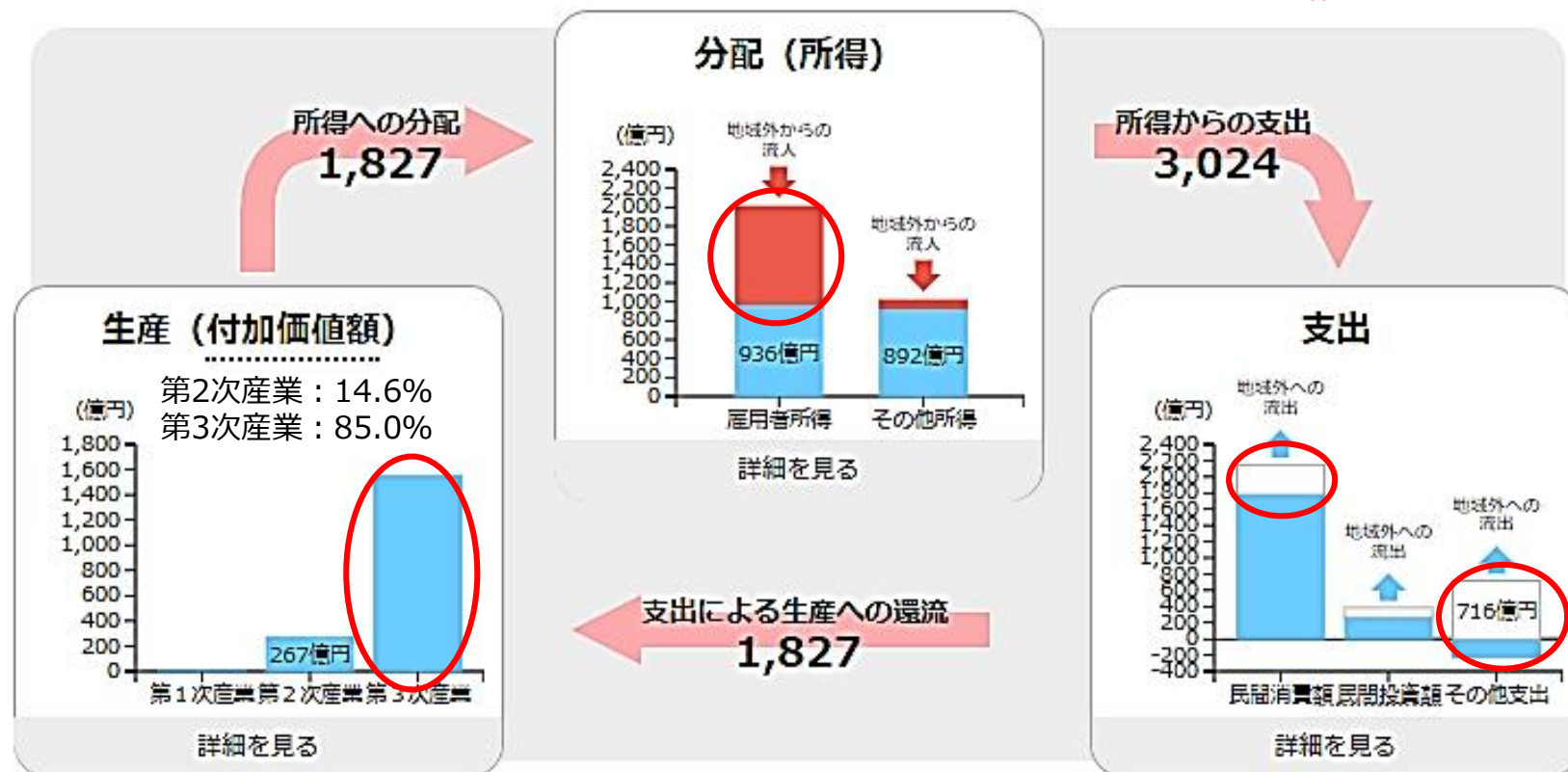
STEP1 和光市 地域経済循環図（2013年）

地域経済循環率
60.4%

*「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

地域経済循環マップ
→地域経済循環図

「その他所得」：財産所得、企業所得、交付税、
社会保障給付、補助金等

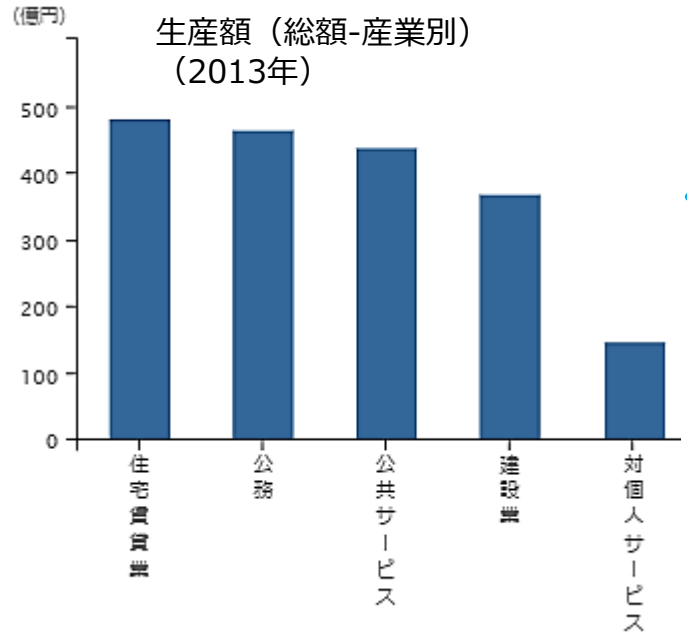
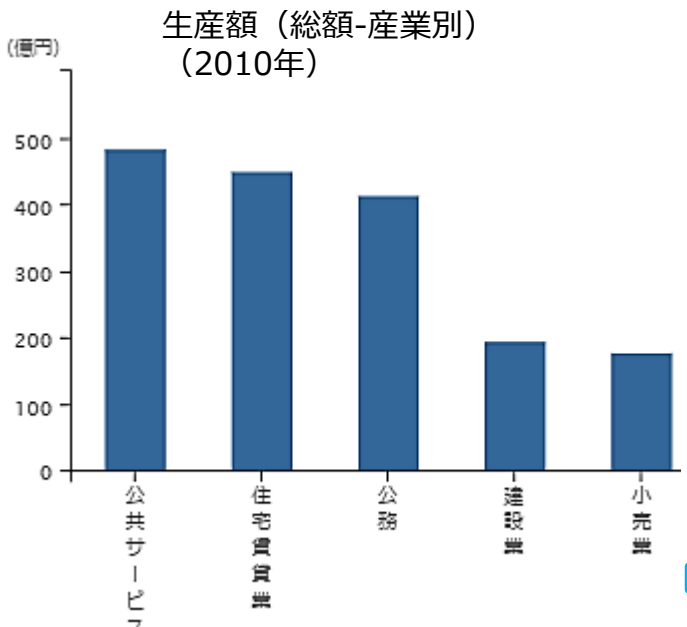


「その他支出」：政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等を示す

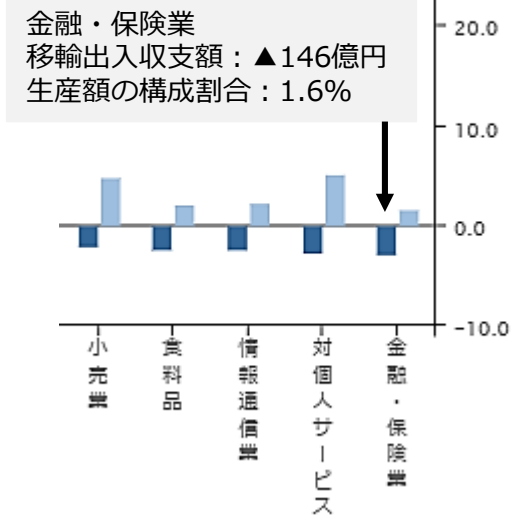
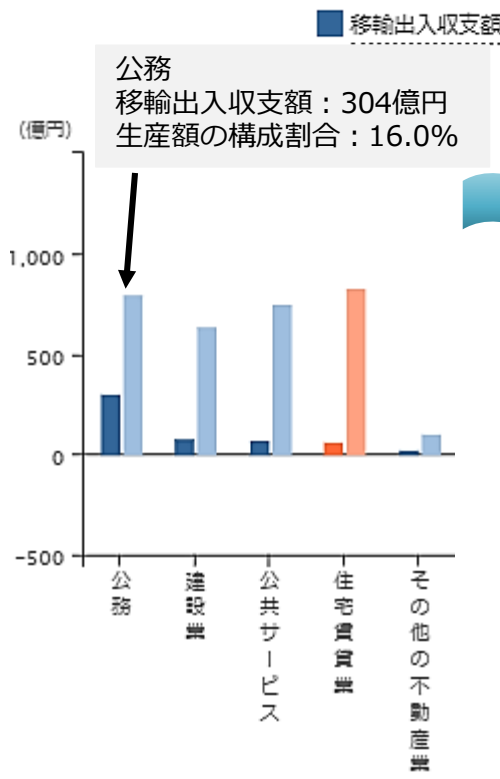
- 生産（付加価値額）では、サービス業を中心とした第3次産業割合が85.0%と高水準。
- 分配（所得）では雇用者所得の域外からの流入が大きな割合を占めており、ベッドタウンの傾向を示している。
- 支出では消費者は域外で財・サービスを購入している傾向（民間消費額の域外流出）。民間投資額も域外流出。
- その他支出の域外流出が大きく、地域内産業の移輸出入収支額等のマイナスが政府支出を上回っている。
つまり、地域内産業が財・サービスを域外に販売することによる所得獲得を、地域内産業が財・サービスを域外より購入することによる所得流出が上回っている。

和光市の主要な産業（生産額上位産業）

地域経済循環マップ
→生産分析



移輸出入収支額（産業別）
2013年
移輸出入収支額総額：和光市 ▲720億円



出典：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

STEP2



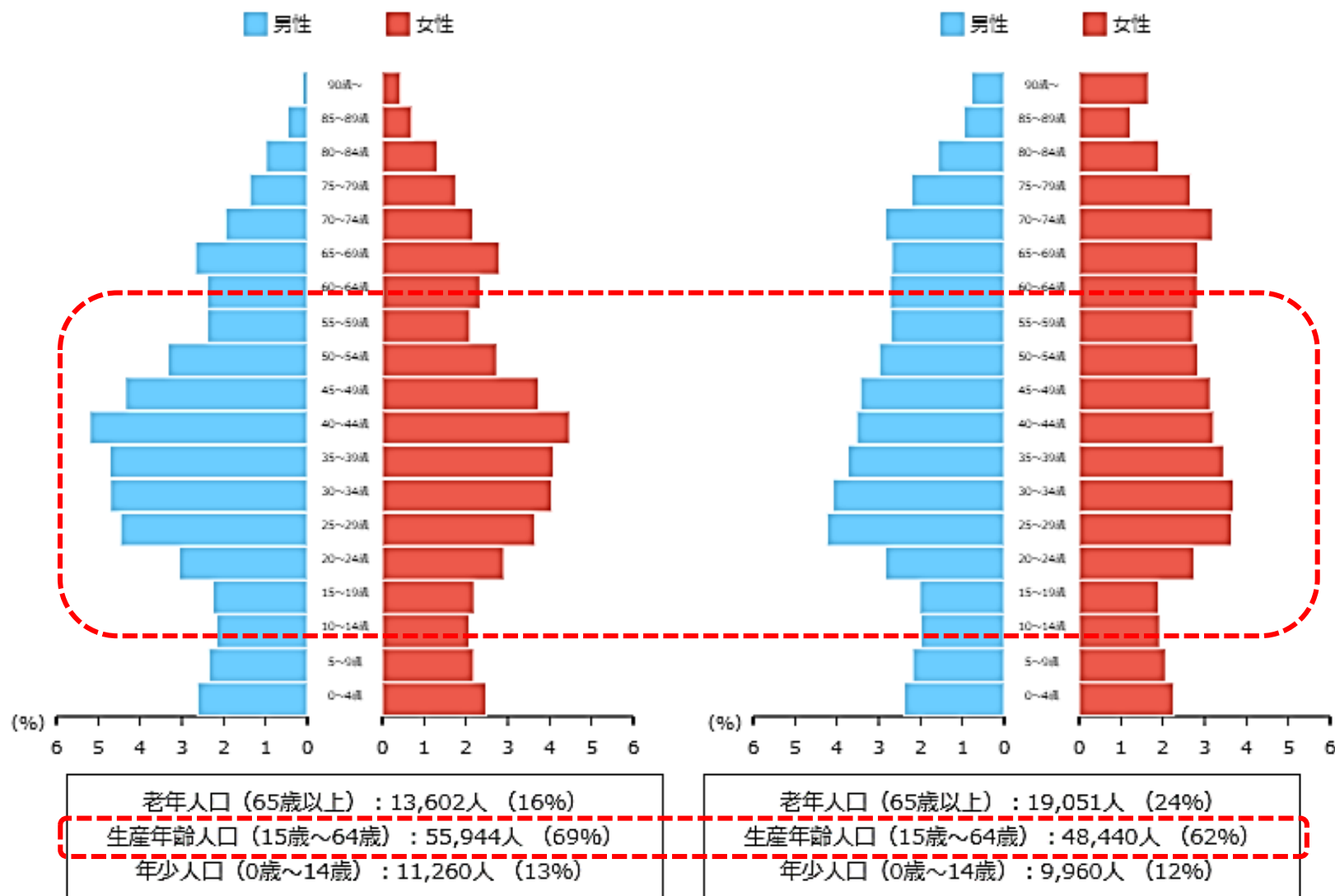
人口の動きをしっかりと見る

和光市 人口ピラミッド (5歳ずつ刻み)

2015年

2045年

人口マップ
→人口構成
→人口ピラミッド



人口マップ
→人口構成
→人口推移

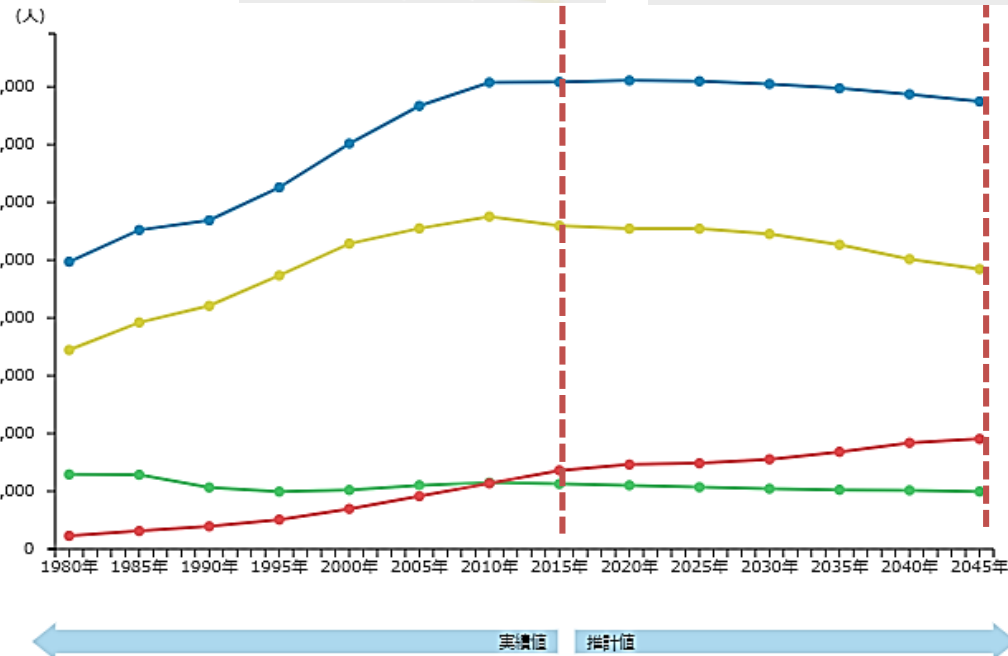
人口マップ
→人口増減

和光市 人口推移

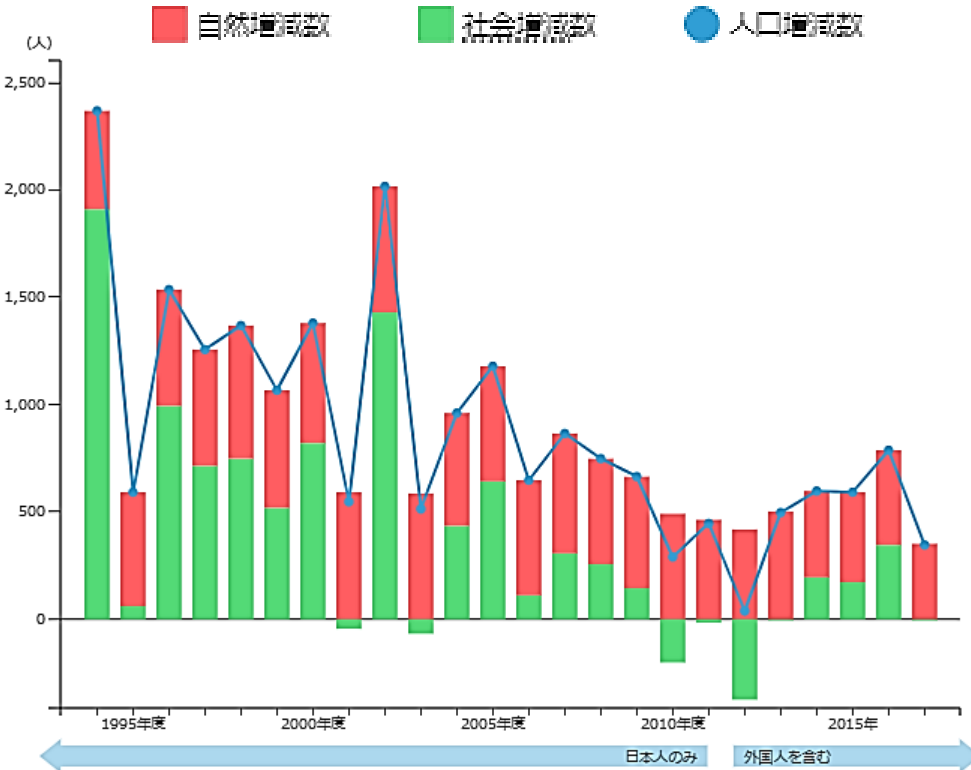
● 総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口

総人口
▲4.2%

2015年	2045年
● 総人口: 80,826人	● 総人口: 77,451人
● 年少人口: 11,260人(13.90%)	● 年少人口: 9,960人(12.80%)
● 生産年齢人口: 55,944人(69.20%)	● 生産年齢人口: 48,440人(62.50%)
● 老年人口: 13,602人(16.80%)	● 老年人口: 19,051人(24.50%)



和光市 人口の自然増減・社会増減の推移



※グラフ右上の総人口割合は2045年と2015年の総人口比較

和光市 人口の社会増減 From - to分析

転入超過数

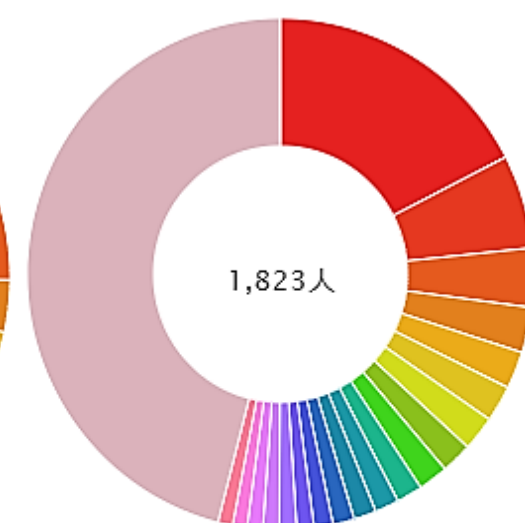
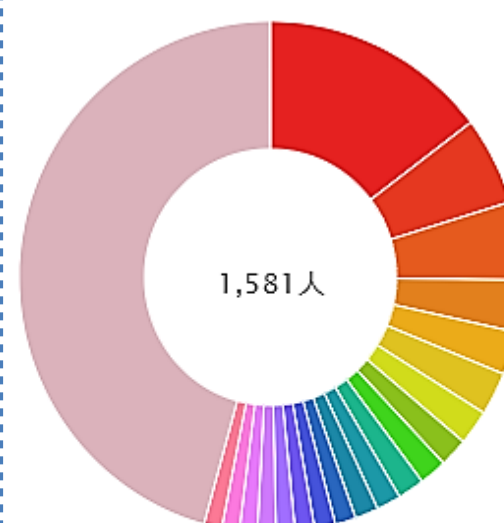
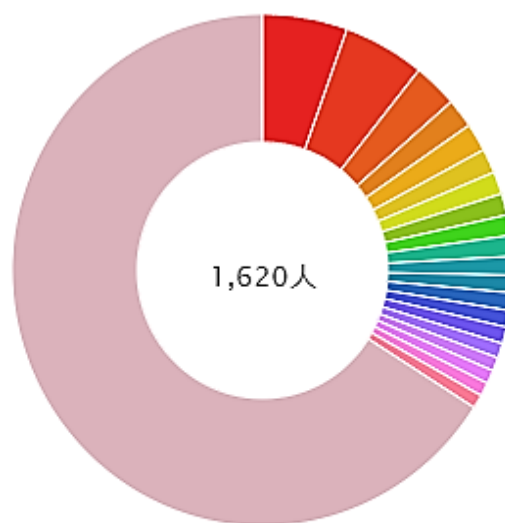
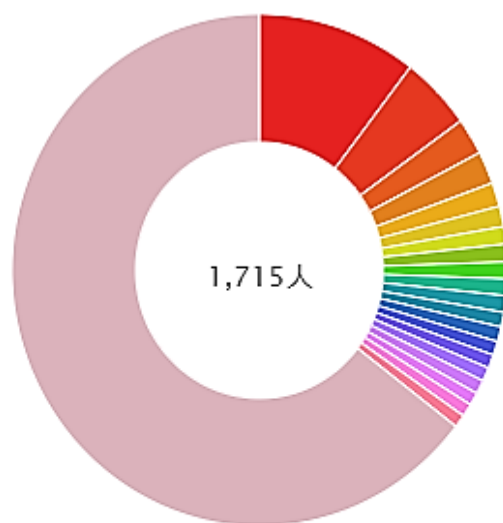
転出超過数

2016年

2017年

2016年

2017年



- 1位 神奈川県横浜市中区 179人 (10.44%)
- 2位 東京都板橋区 80人 (4.66%)
- 3位 静岡県御殿場市 40人 (2.33%)
- 4位 東京都練馬区 35人 (2.04%)
- 5位 東京都中野区 26人 (1.52%)

- 1位 神奈川県横浜市中区 89人 (5.49%)
- 2位 東京都板橋区 85人 (5.25%)
- 3位 兵庫県神戸市東灘区 46人 (2.84%)
- 4位 東京都大田区 30人 (1.85%)
- 5位 東京都練馬区 29人 (1.79%)

- 1位 埼玉県朝霞市 232人 (14.67%)
- 2位 埼玉県志木市 88人 (5.57%)
- 3位 埼玉県新座市 78人 (4.93%)
- 4位 埼玉県富士見市 52人 (3.29%)
- 5位 東京都世田谷区 43人 (2.72%)

- 1位 埼玉県朝霞市 318人 (17.44%)
- 2位 埼玉県志木市 108人 (5.92%)
- 3位 埼玉県新座市 68人 (3.73%)
- 4位 静岡県小山町 52人 (2.85%)
- 5位 埼玉県川越市 43人 (2.36%)

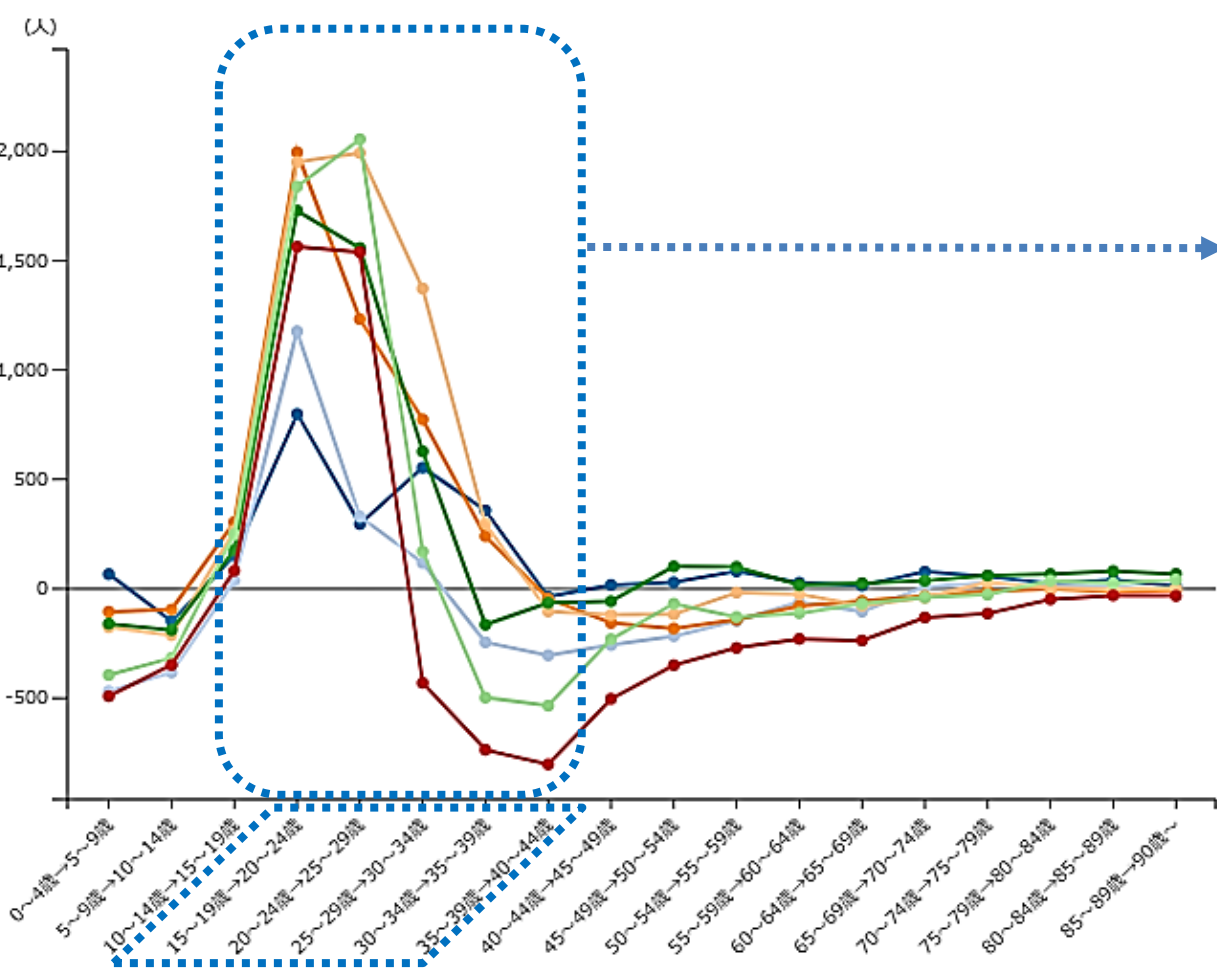
STEP2 年齢別人口分布の変化



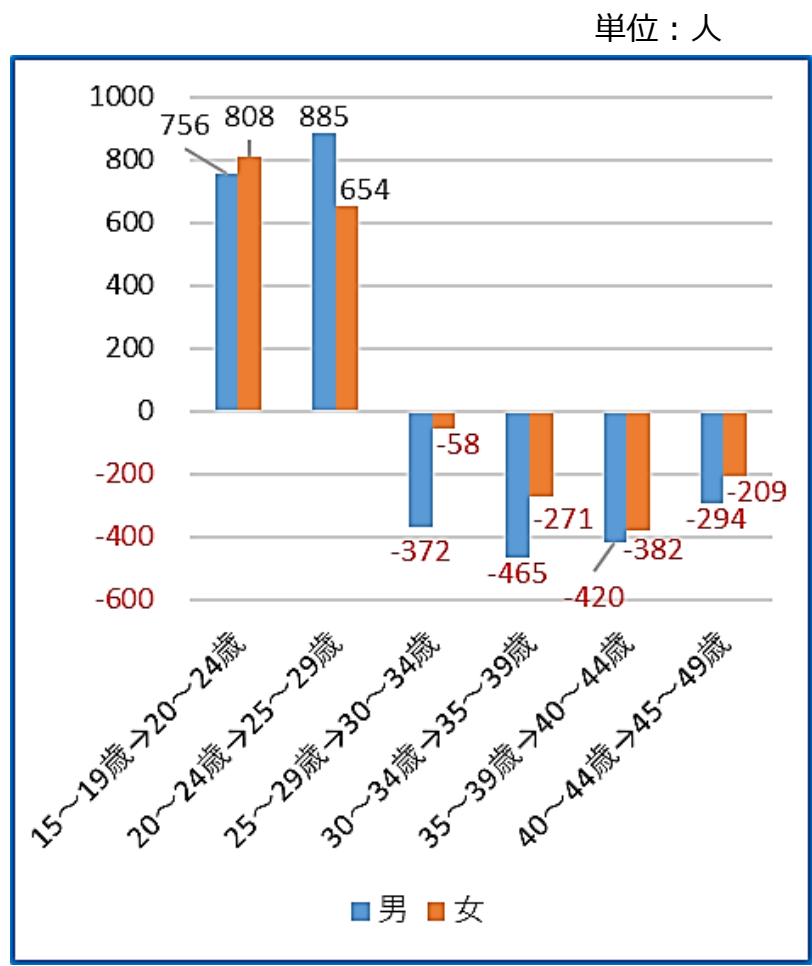
人口マップ
→人口の社会増減

RESASデータ加工

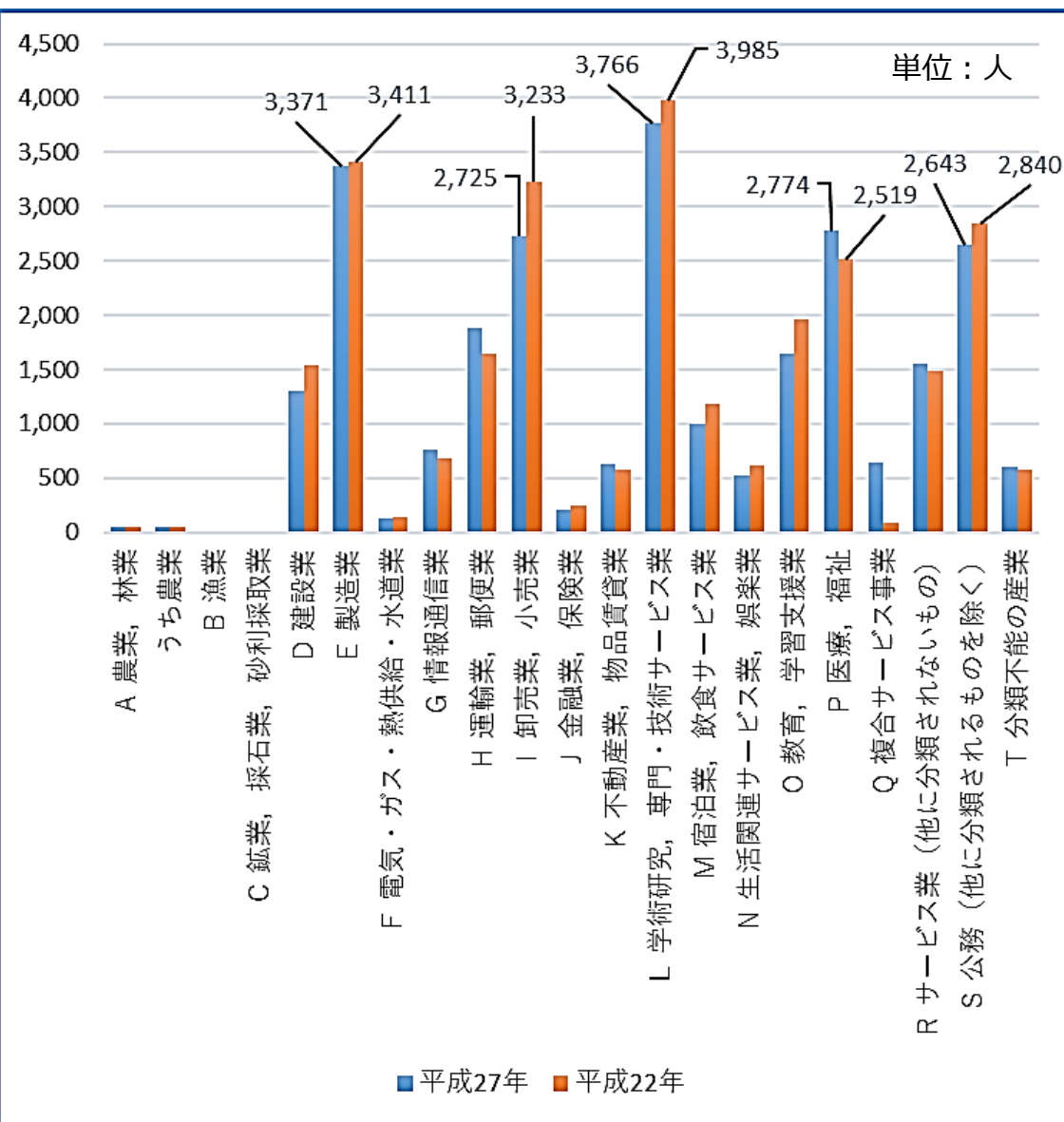
年齢階級別純移動数



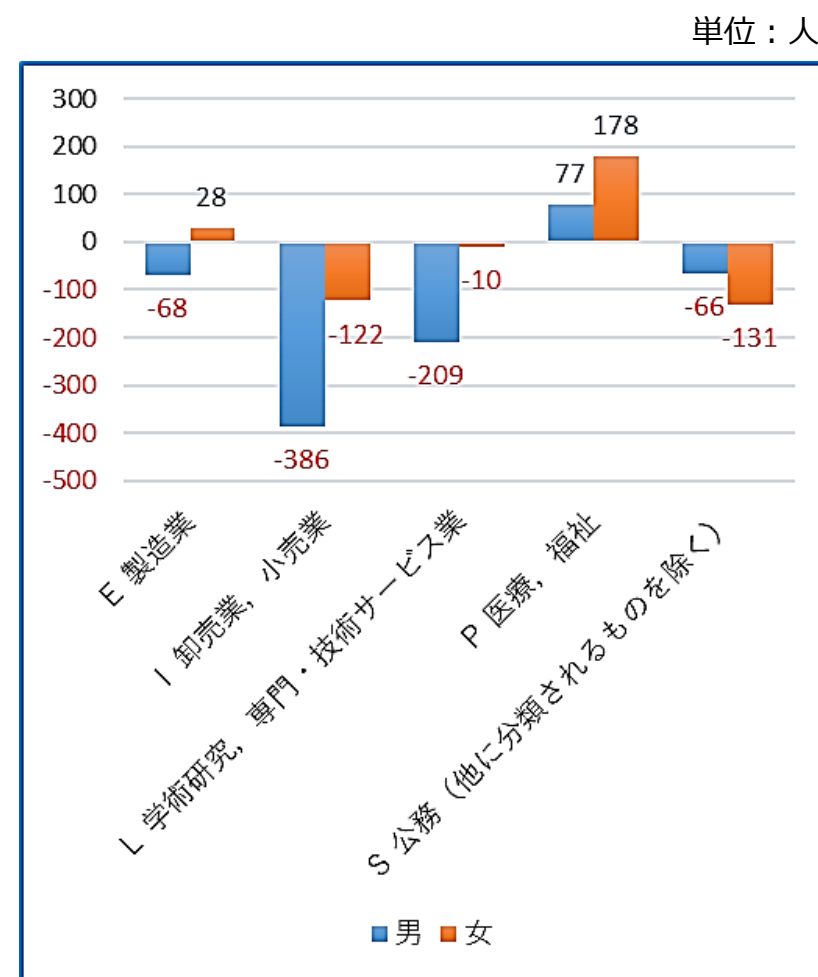
年齢階級別純移動数男女別内訳（2010年→2015）



和光市 従業地における産業別就業者数（15歳以上）



男女別 就業者数の増減（平成27年と平成22年の差）



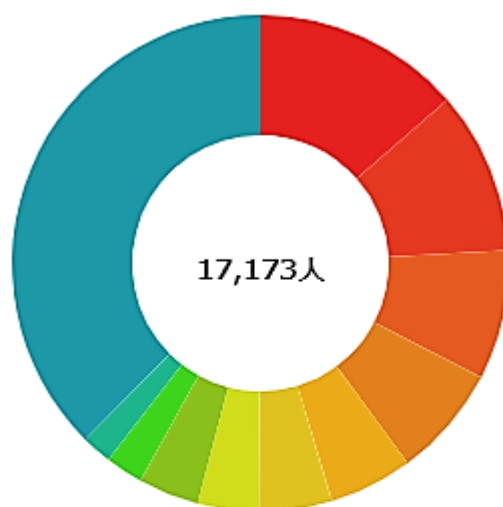
STEP2 通勤者における人の動き

流入者数・流出者数の地域別構成割合

まちづくりマップ
→通勤通学人口

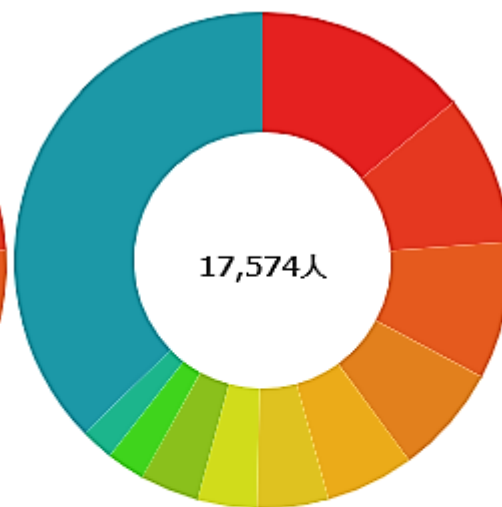
域内への流入者数

2010年



- 1位 埼玉県朝霞市 2,324人 (13.53%)
- 2位 東京都練馬区 1,828人 (10.64%)
- 3位 東京都板橋区 1,446人 (8.42%)
- 4位 埼玉県新座市 1,252人 (7.29%)
- 5位 埼玉県さいたま市 938人 (5.46%)

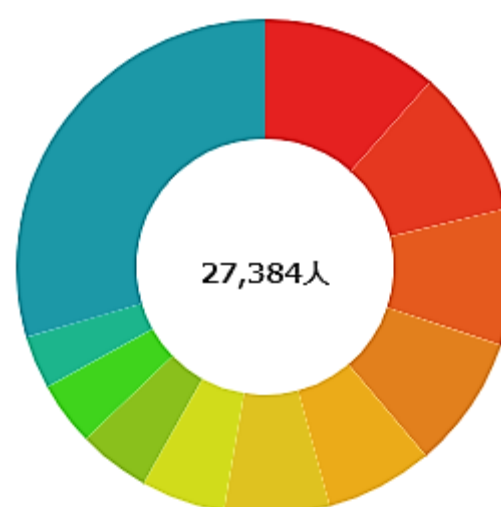
2015年



- 1位 埼玉県朝霞市 2,457人 (13.98%)
- 2位 東京都練馬区 1,727人 (9.83%)
- 3位 東京都板橋区 1,577人 (8.97%)
- 4位 埼玉県新座市 1,261人 (7.18%)
- 5位 埼玉県さいたま市 1,014人 (5.77%)

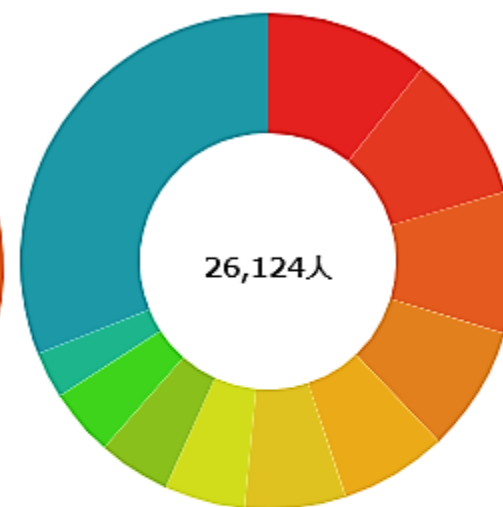
域外への流出者数

2010年



- 1位 東京都板橋区 3,167人 (11.57%)
- 2位 東京都千代田区 2,639人 (9.64%)
- 3位 東京都練馬区 2,442人 (8.92%)
- 4位 東京都新宿区 2,373人 (8.67%)
- 5位 東京都豊島区 1,927人 (7.04%)

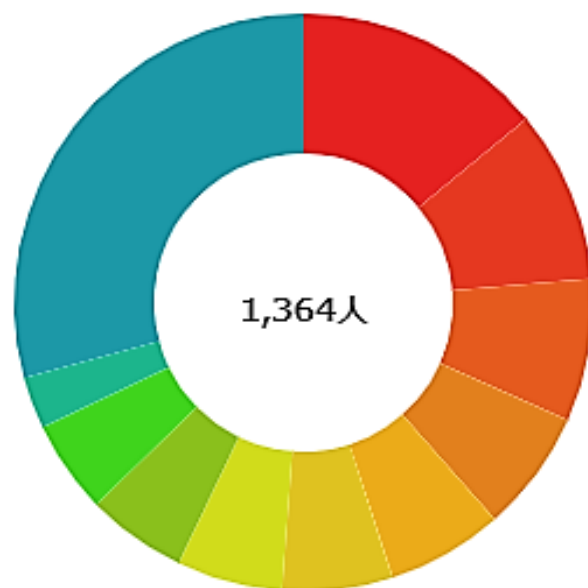
2015年



- 1位 東京都板橋区 2,809人 (10.75%)
- 2位 東京都千代田区 2,530人 (9.68%)
- 3位 東京都新宿区 2,429人 (9.30%)
- 4位 東京都練馬区 2,136人 (8.18%)
- 5位 東京都港区 1,831人 (7.01%)

域内への流入者数

2015年

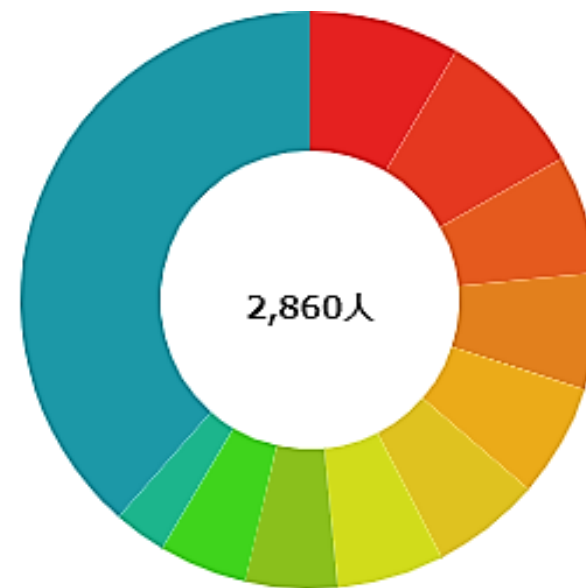


- 1位 埼玉県朝霞市 191人 (14.00%)
- 2位 埼玉県新座市 132人 (9.68%)
- 3位 埼玉県川越市 109人 (7.99%)
- 4位 埼玉県富士見市 93人 (6.82%)
- 5位 埼玉県戸田市 89人 (6.52%)

流入者数：1,364人
流出者数：2,860人
(流出超過数：1,496人)

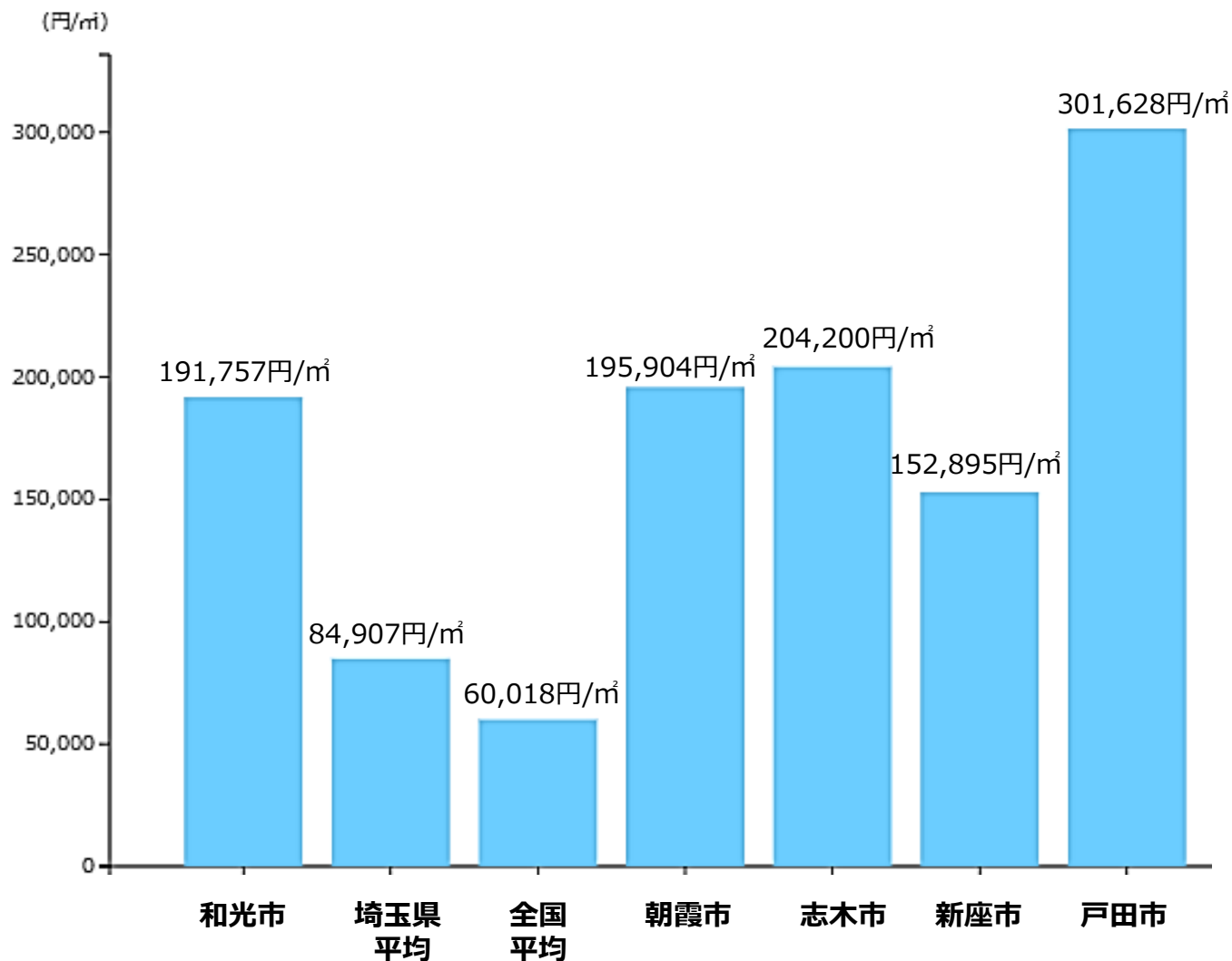
域外への流出者数

2015年



- 1位 埼玉県川越市 242人 (8.46%)
- 2位 東京都豊島区 240人 (8.39%)
- 3位 東京都新宿区 190人 (6.64%)
- 4位 東京都板橋区 187人 (6.54%)
- 5位 東京都文京区 181人 (6.33%)

住宅地取引価格（取引面積1㎡あたり）（2017年）

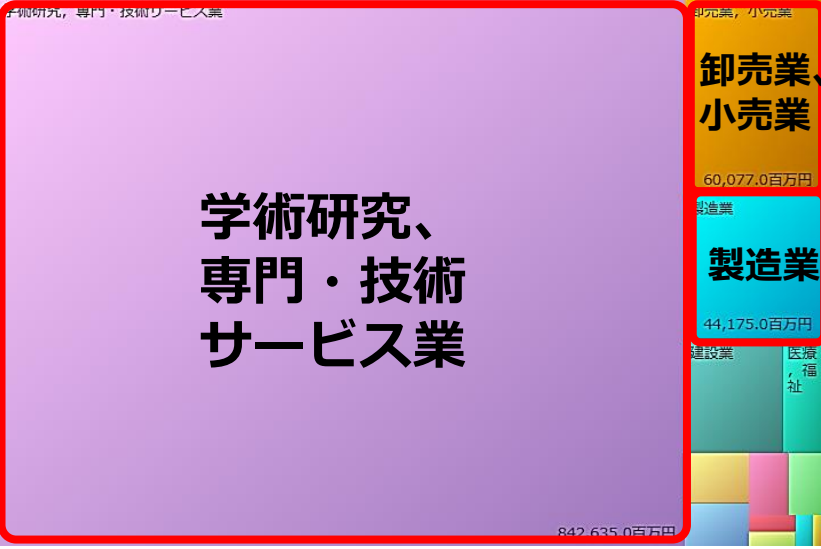


STEP3

地域における主要な産業を選ぶ

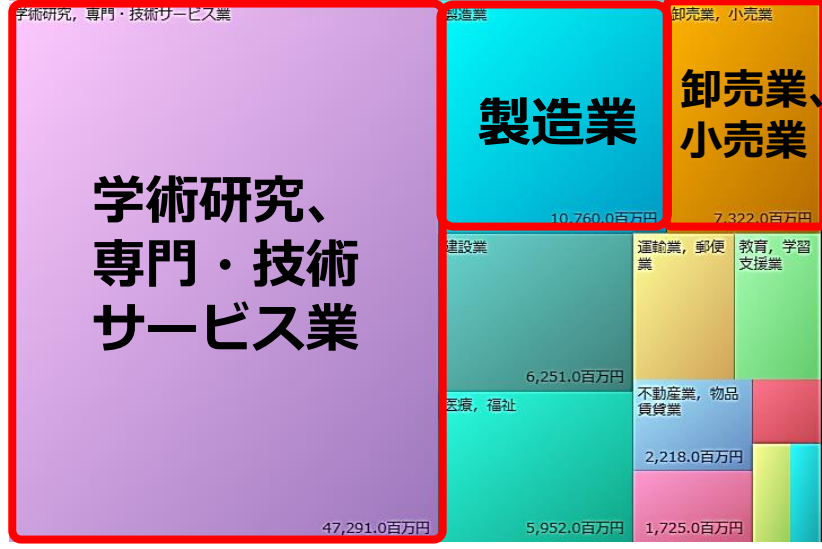
STEP3 地域の主要な産業の特定（大分類）

売上高（企業単位、2016年） 1,010,676百万円



産業構造マップ
→全産業
→全産業の構造

付加価値額（企業単位、2016年） 89,529百万円



事業所数（事業所単位、2016年） 1,742事業所



従業者数（事業所単位、2016年） 27,216人



出典：総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工
出典：総務省「経済センサスー基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

STEP3 地域の主要な産業の特定（中分類）

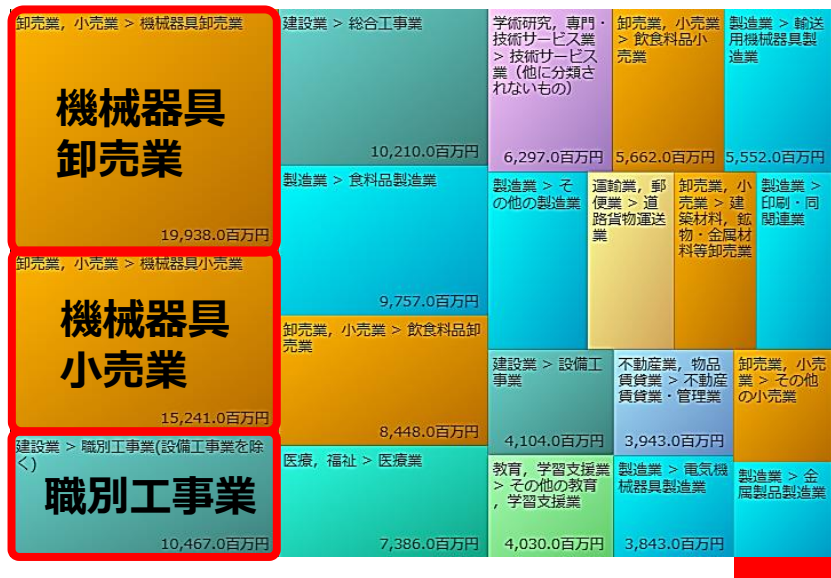
売上高（企業単位、2016年）

1,010,676百万円

産業構造マップ

→全産業

→全産業の構造



農業産出額
102千万円

事業所数（事業所単位、2016年）

1,742事業所



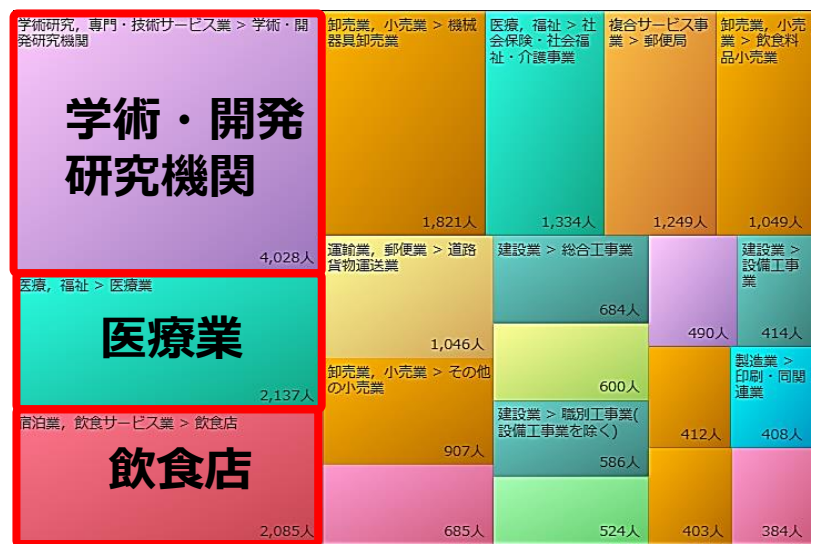
付加価値額（企業単位、2016年）

89,529百万円



従業者数（事業所単位、2016年）

27,216人

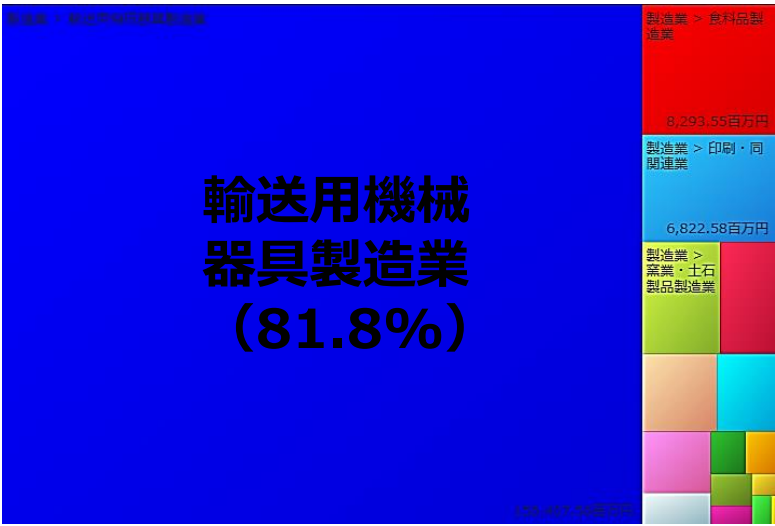


出典：総務省・経済産業省「経済センサス—活動調査」再編加工

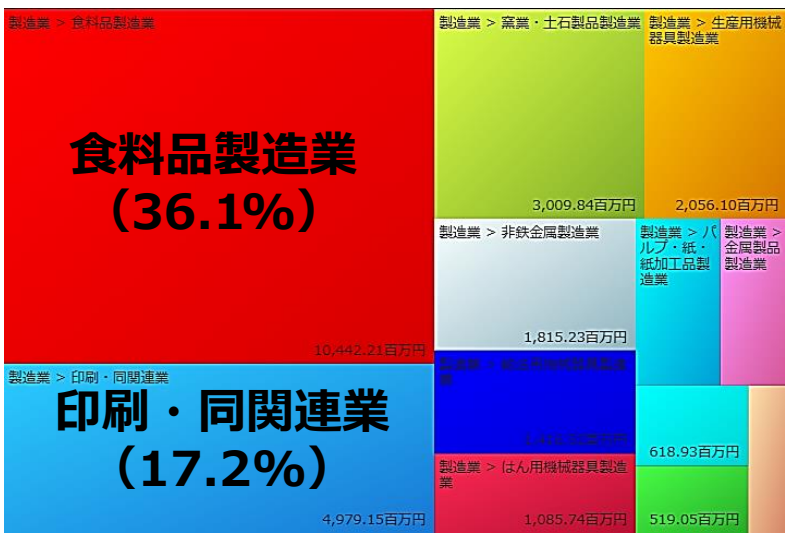
出典：総務省「経済センサス—基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス—活動調査」再編加工

STEP3 製造品出荷額等の構成と推移

製造品出荷額等（2001年） 191,322百万円



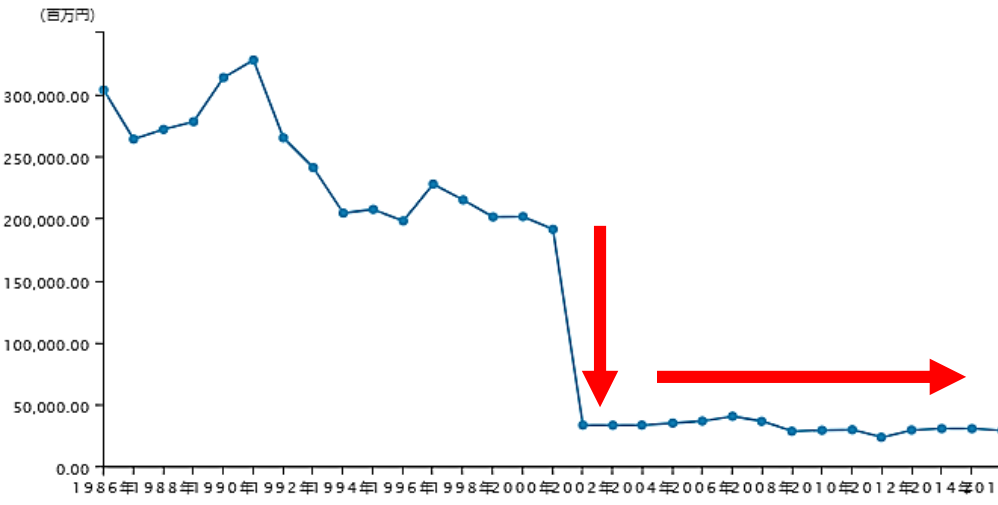
製造品出荷額等（2016年） 28,916百万円



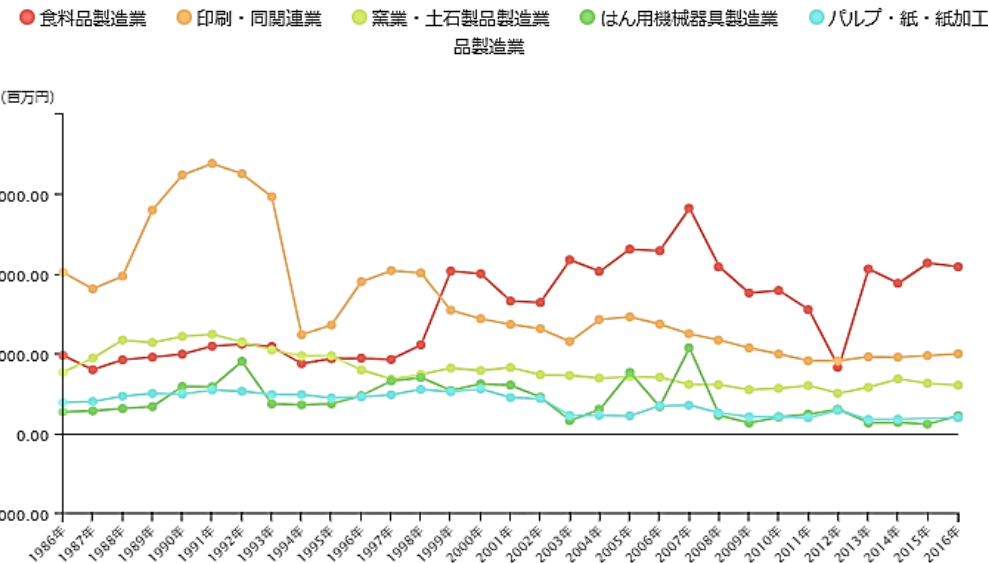
産業構造マップ
→製造業
→製造業の構造、
製造業の比較

*事業所単位で集計

製造業の製造品出荷額等（実数）の推移（1986年～2016年）



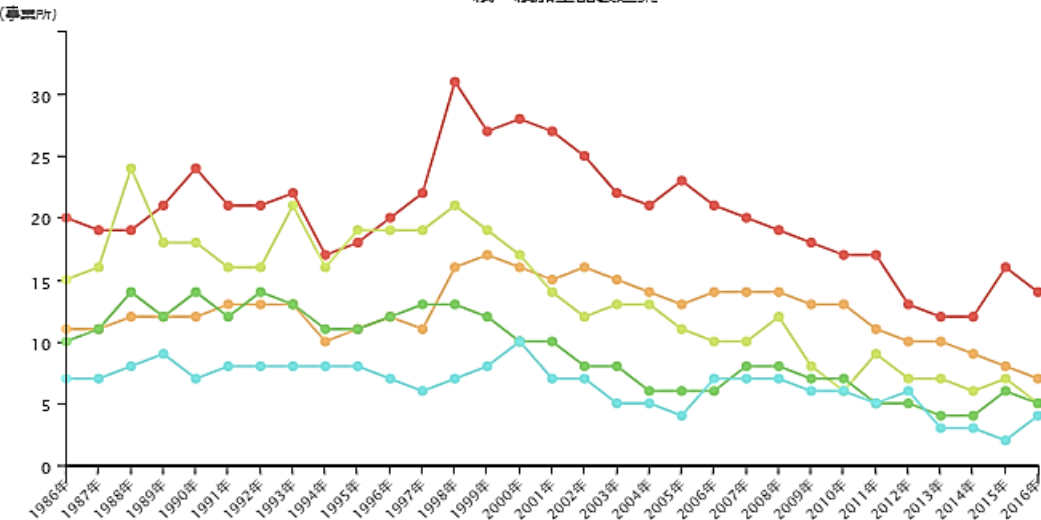
上位5分類の推移（1986年～2016年）



STEP3 事業所数及び常用従業者数の推移

事業所数（1986年～2016年）

● 印刷・同関連業 ● 食料品製造業 ● 金属製品製造業 ● プラスチック製品製造業（別掲を除く） ● パルプ・紙・紙加工品製造業



産業構造マップ
→製造業
→製造業の構造

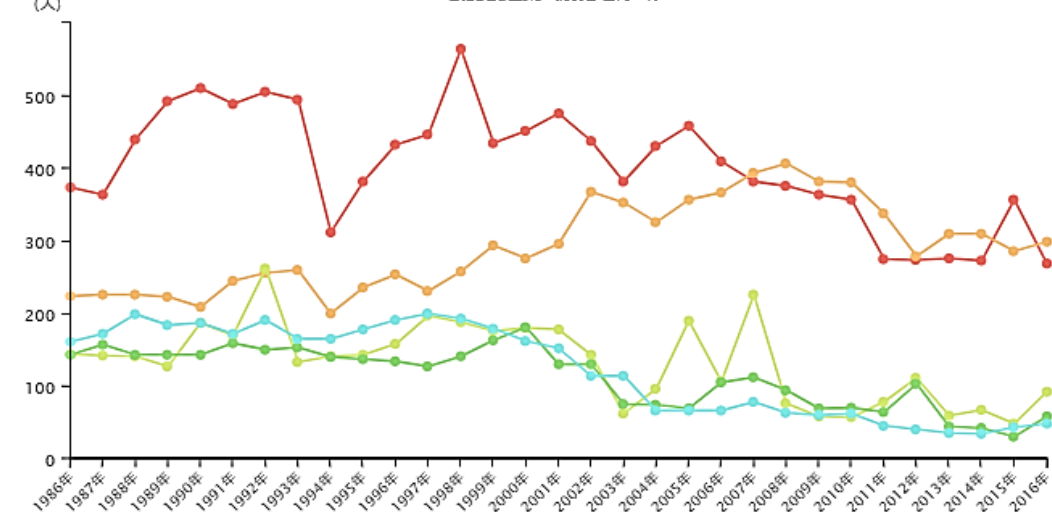
1986年
● 印刷・同関連業: 20事業所
● 食料品製造業: 11事業所
● 金属製品製造業: 15事業所
● プラスチック製品製造業（別掲を除く）: 10事業所
● パルプ・紙・紙加工品製造業: 7事業所



2016年
● 印刷・同関連業: 14事業所
● 食料品製造業: 7事業所
● 金属製品製造業: 5事業所
● プラスチック製品製造業（別掲を除く）: 5事業所
● パルプ・紙・紙加工品製造業: 4事業所

常用従業者数の推移（1986年～2016年）

● 印刷・同関連業 ● 食料品製造業 ● はん用機械器具製造業 ● パルプ・紙・紙加工品製造業 ● プラスチック製品製造業（別掲を除く）



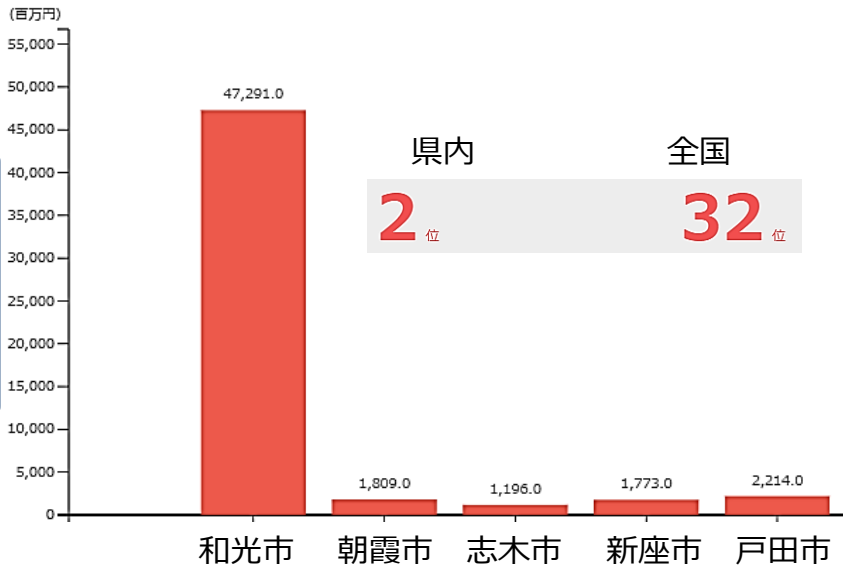
1986年
● 印刷・同関連業: 373人
● 食料品製造業: 223人
● はん用機械器具製造業: 143人
● パルプ・紙・紙加工品製造業: 142人
● プラスチック製品製造業（別掲を除く）: 160人



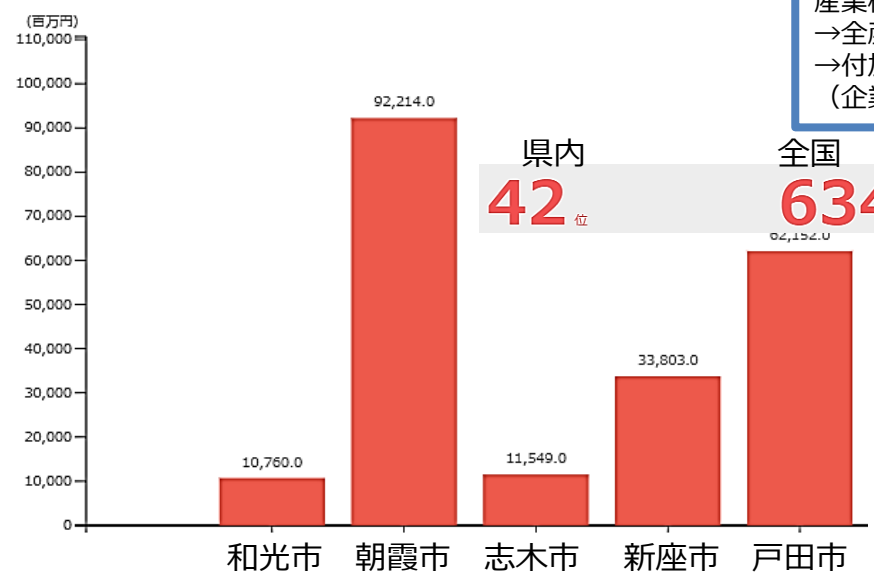
2016年
● 印刷・同関連業: 268人
● 食料品製造業: 298人
● はん用機械器具製造業: 91人
● パルプ・紙・紙加工品製造業: 57人
● プラスチック製品製造業（別掲を除く）: 47人

STEP3 付加価値額（上段）と労働生産性（下段）（企業単位） 2016年

付加価値額



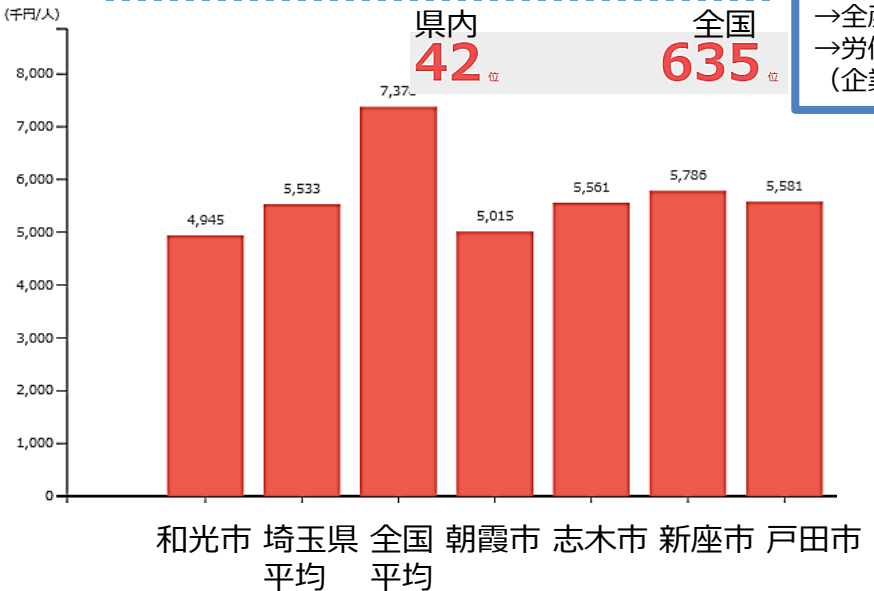
産業構造マップ
→全産業
→付加価値
(企業単位)



学術研究、専門・技術サービス業



製造業



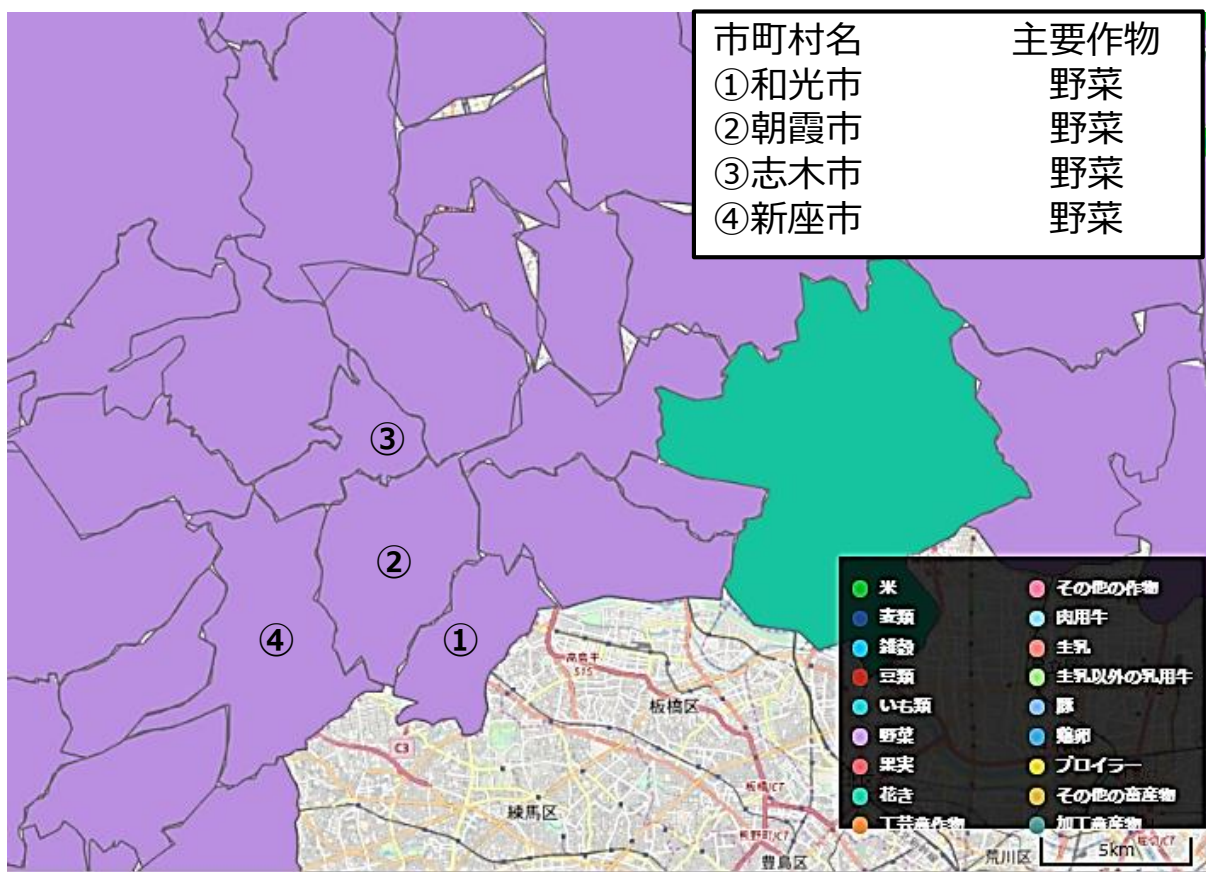
産業構造マップ
→全産業
→労働生産性
(企業単位)

労働生産性

STEP3 地域の主要な産業の特定（農業）

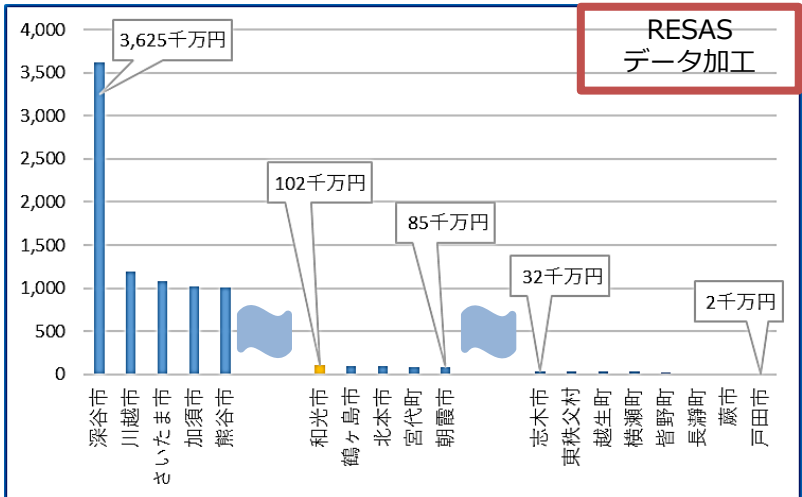
主要作物マップ（2016）

産業構造マップ
→農業
→農業の構造

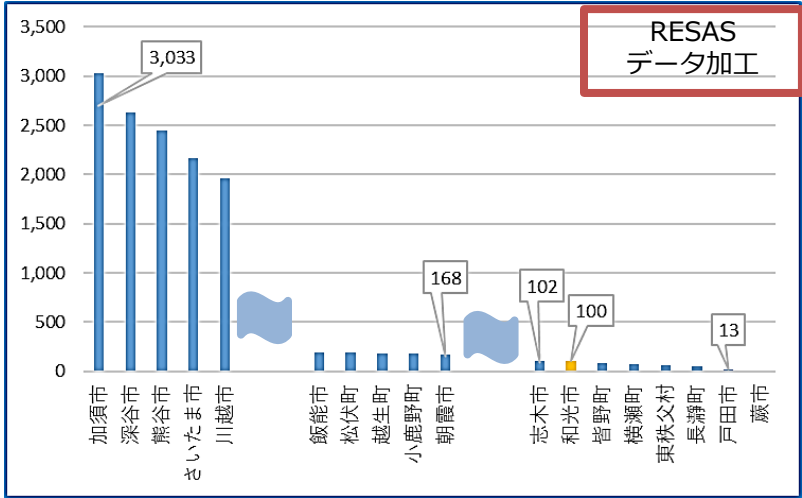


埼玉県内農業産出額合計（2016年）

単位：千万円

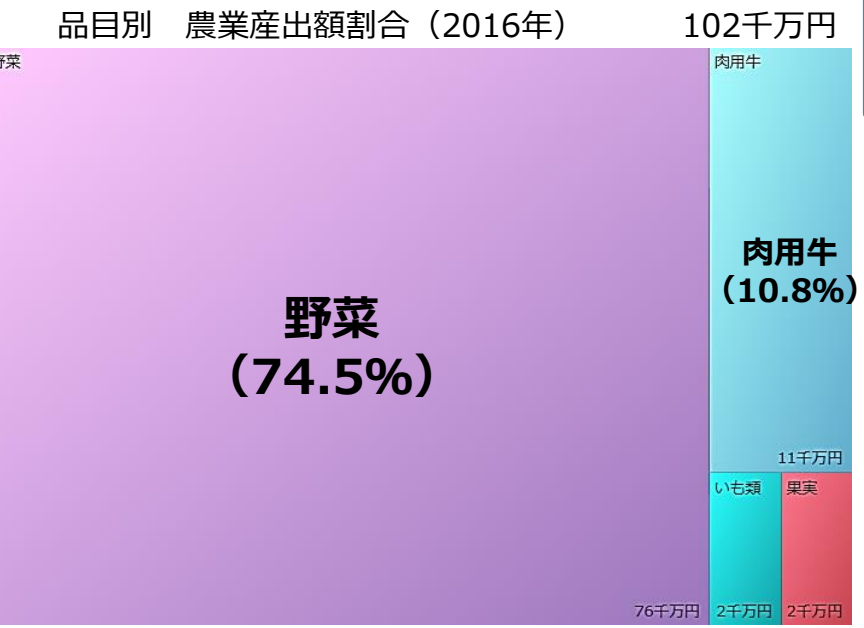


埼玉県内農業経営体数（2015年）



出典：農林水産省「農林業センサス」再編加工
出典：都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得 市町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

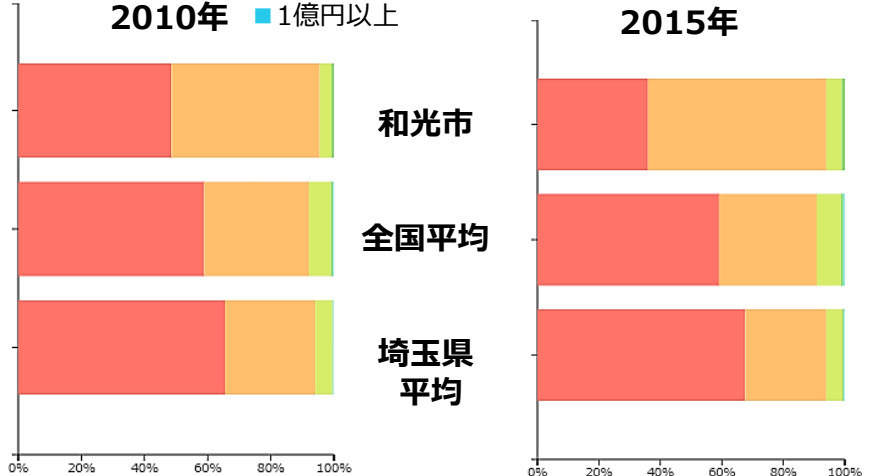
STEP3 地域の主要な産業の特定（農業）



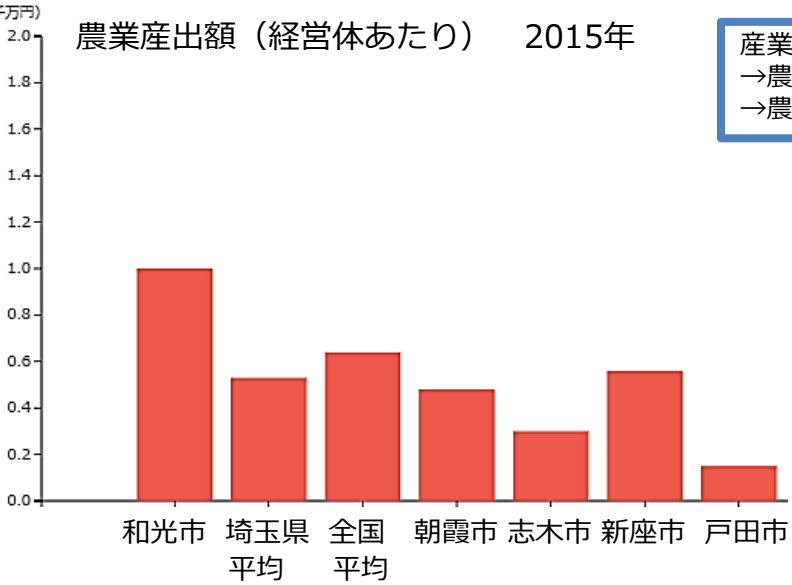
産業構造マップ
→農業
→農業の構造

農産物販売金額帯別の経営体の割合

- 100万円未満
- 100万円以上1,000万円未満
- 1,000万円以上5,000万円未満
- 5,000万円以上1億円未満
- 1億円以上

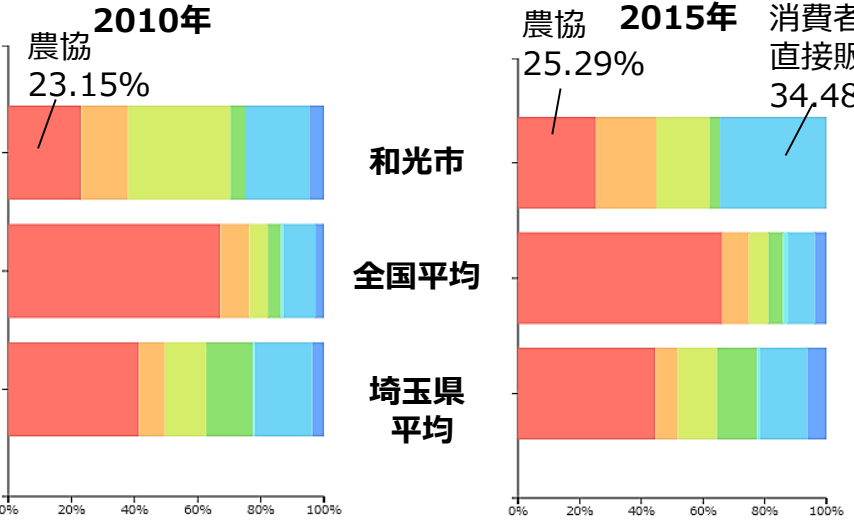


産業構造マップ
→農業
→農業者分析



産業構造マップ
→農業
→農業産出額

農産物の出荷先別経営体数の割合



出典：農林水産省「農林業センサス」 全国単位 農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」、市町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

- 経済センサスの大分類でみると、売上高、付加価値額、従業者数、事業所数の構成割合が高い産業は、「学術研究、専門・技術サービス業」、「卸売業、小売業」、「製造業」、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療、福祉」となっている。
- これら産業を経済センサスの中分類でみると、売上高、付加価値額、従業者数、事業所数の構成割合が高い産業は、「機械器具卸売業」、「機械器具小売業」、「職別工事業」、「医療業」、「総合工事業」、「その他の教育、学習支援業」、「飲食店」、「不動産賃貸・管理業」、「飲食料品小売業」、「学術・開発研究機関」となっている。

STEP4

主要産業について他地域と相対比較する

■ 他地域との比較優位産業を特定する

1、「3-1-1.全産業の構造」を使って

①売上高

②付加価値額

③従業者数（事業者単位）

④事業所数（事業者単位）における主要産業（大・中分類）を把握する。

2、「3-1-1.全産業の構造」の「横棒グラフで割合を見る」を使って①～④

における主要産業の**特化係数（全国構成比との比較係数）**を算出する。

＊ 弊局の例：主要産業（中分類）における①～④の上位産業について、
①～④の特化係数をそれぞれ算出し、複数項目が1.5以上となる産業」を把握する。

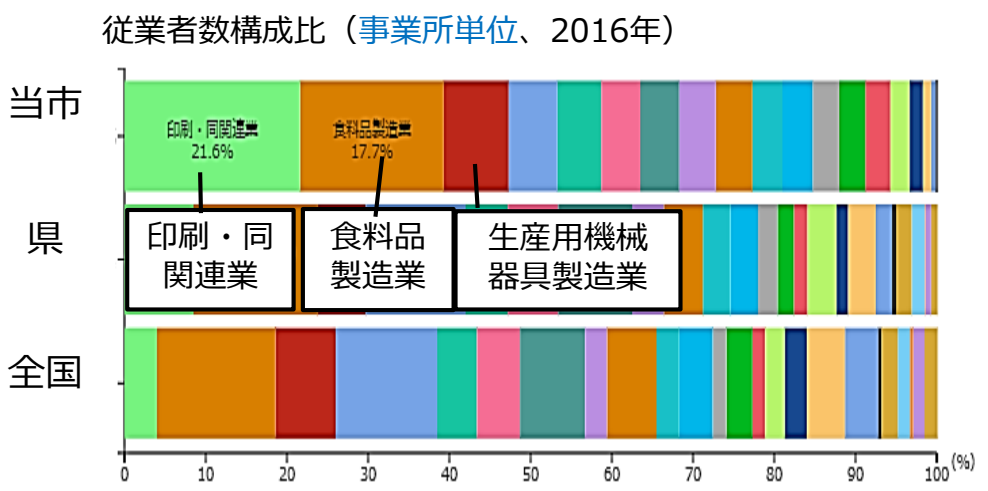
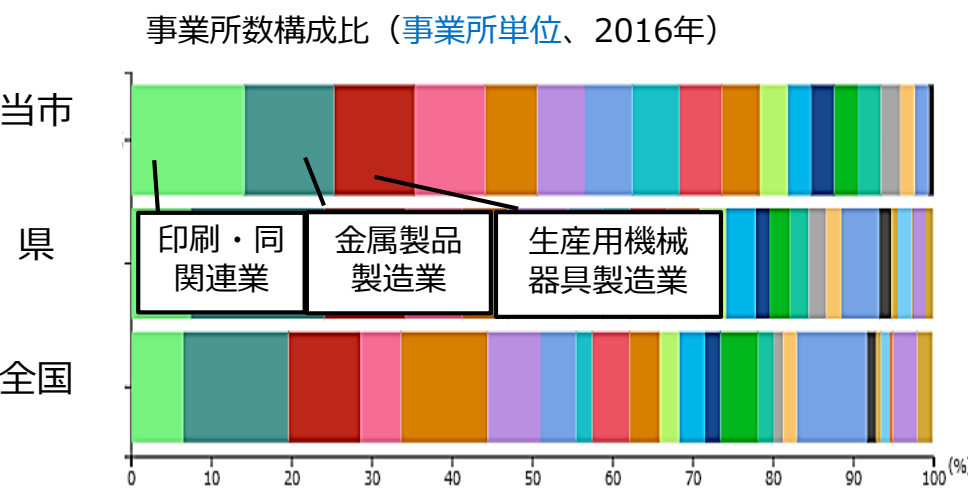
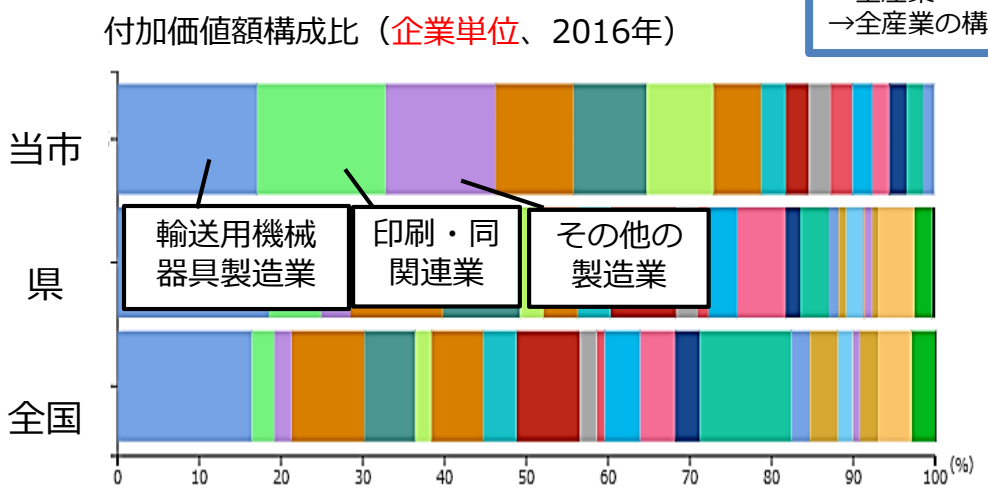
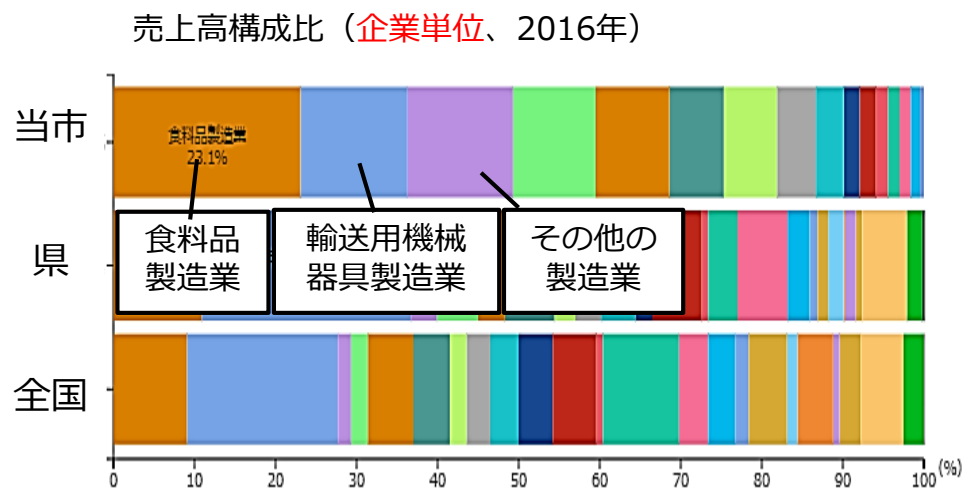
または、

「産業構造マップ」→「全産業」→「稼ぐ力分析」→「グラフ分析」
→「散布図で分析」で把握する。

→以上により、**産業集積度が高い中分類産業を把握**することができる。

STEP4 他地域との比較優位の確認（例：製造業）

産業構造マップ
→全産業
→全産業の構造



STEP4 他地域との比較優位の確認（例：製造業）

● 各指標における特化係数の算出状況をまとめると以下のとおり。（特化係数が1.5以上のものに色付け）
構成比・特化係数一覧

産業構造マップ
→全産業
→全産業の構造

RESAS
データ加工

業種	基準値	和光市構成比①	埼玉県構成比	全国構成比②	特化係数（①÷②）
印刷・同関連業*	売上高	10.2	5.1	2.1	4.86
	付加価値額	15.7	6.4	2.8	5.61
	事業所数（事業所単位）	14.1	7.4	6.5	2.17
	従業者数（事業所単位）	21.6	8.5	4.0	5.40
食料品*	売上高	23.1	10.9	9.1	2.54
	付加価値額	9.6	11.3	8.9	1.08
	事業所数（事業所単位）	6.5	5.6	10.8	0.60
	従業者数（事業所単位）	17.7	15.3	14.6	1.21
生産用機械器具*	売上高	2.0	6.1	5.4	0.37
	付加価値額	2.8	8.0	7.7	0.36
	事業所数（事業所単位）	10.0	10.0	8.9	1.12
	従業者数（事業所単位）	8.0	5.9	7.4	1.08
金属製品*	売上高	6.7	6.1	4.5	1.49
	付加価値額	8.9	9.4	6.2	1.44
	事業所数（事業所単位）	11.2	16.7	13.1	0.85
	従業者数（事業所単位）	4.8	9.1	8.0	0.60

業種横の＊は、P24の横棒グラフにおいて割合上位の3業種であることを示している。

STEP4 他地域との比較優位の確認（例：製造業）

● 各指標における特化係数の算出状況をまとめると以下のとおり。（特化係数が1.5以上のものに色付け）
構成比・特化係数一覧

産業構造マップ
→全産業
→全産業の構造

RESAS
データ加工

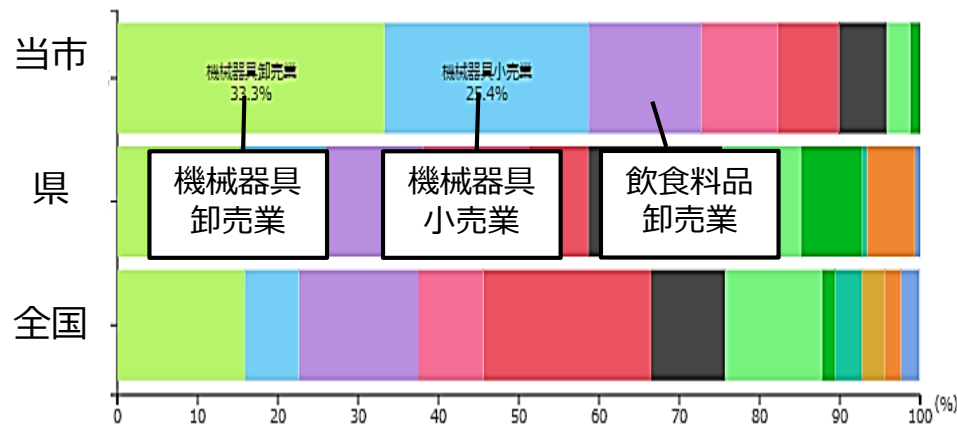
業種	基準値	和光市構成比①	埼玉県構成比	全国構成比②	特化係数（①÷②）
輸送用機械器具*	売上高	13.2	25.8	18.6	0.71
	付加価値額	17.1	18.5	16.4	1.04
	事業所数（事業所単位）	5.9	4.3	4.4	1.34
	従業者数（事業所単位）	6.0	12.3	12.5	0.48
非鉄金属	売上高	4.8	3.2	2.9	1.66
	付加価値額	2.7	2.7	2.1	1.29
	事業所数（事業所単位）	2.4	2.2	1.2	2.00
	従業者数（事業所単位）	3.3	2.4	1.7	1.94
業務用機械器具	売上高	3.4	4.2	3.5	0.97
	付加価値額	3.0	4.0	4.1	0.73
	事業所数（事業所単位）	5.9	3.4	2.0	2.95
	従業者数（事業所単位）	3.7	3.4	2.8	1.32
その他*	売上高	13.0	3.2	1.6	8.13
	付加価値額	13.4	3.6	2.1	6.38
	事業所数（事業所単位）	5.9	7.5	6.6	0.89
	従業者数（事業所単位）	4.5	3.9	2.7	1.67

業種横の＊は、P24の横棒グラフにおいて割合上位の3業種であることを示している。

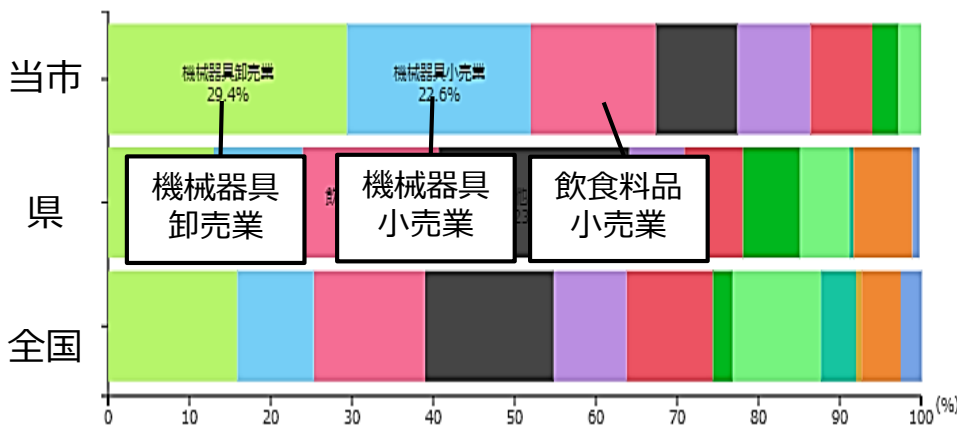
STEP4 他地域との比較優位の確認（例：卸売業、小売業）

産業構造マップ
→全産業
→全産業の構造

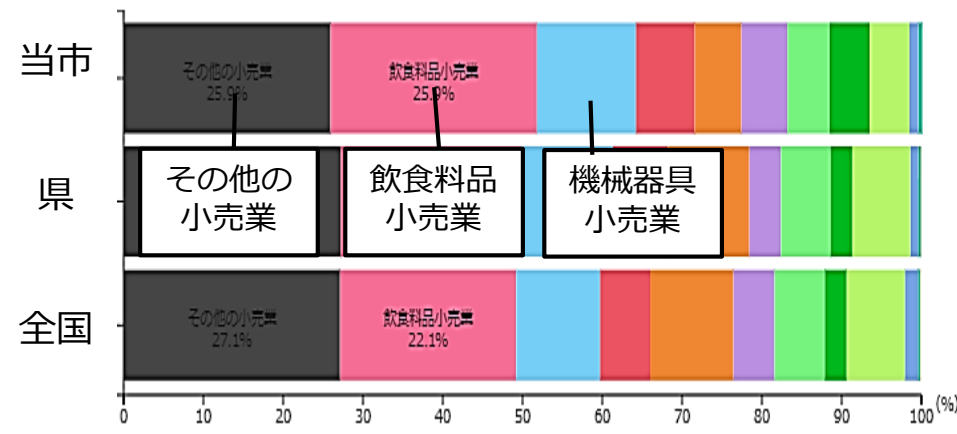
売上高構成比（企業単位、2016年）



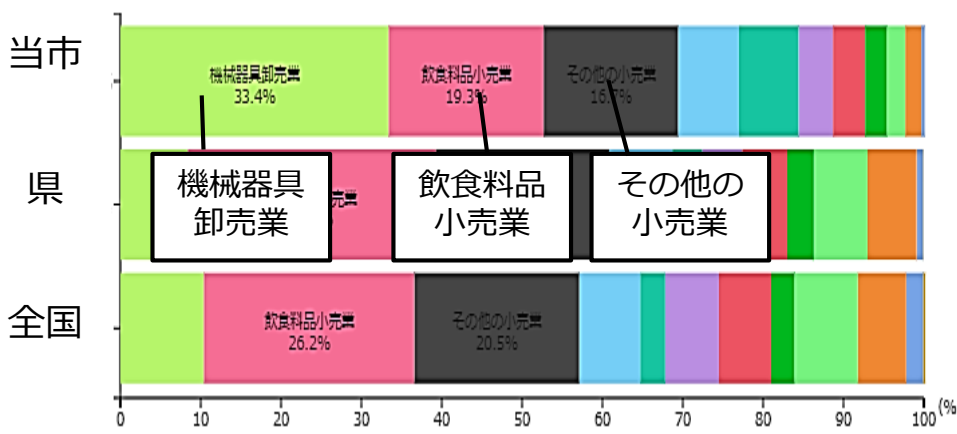
付加価値額構成比（企業単位、2016年）



事業所数構成比（事業所単位、2016年）



従業者数構成比（事業所単位、2016年）



出典：総務省「経済センサス－基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」再編加工

STEP4 他地域との比較優位の確認（例：卸売業、小売業）

● 各指標における特化係数の算出状況をまとめると以下のとおり。（特化係数が1.5以上のものに色付け）
構成比・特化係数一覧

産業構造マップ
→全産業
→全産業の構造

RESAS
データ加工

業種	基準値	和光市構成比①	埼玉県構成比	全国構成比②	特化係数（①÷②）
飲食料品卸売業	売上高	14.1	12.1	14.9	0.95
	付加価値額	9.0	6.8	9.0	1.00
	事業所数（事業所単位）	5.8	4.0	5.2	1.12
	従業者数（事業所単位）	4.3	5.0	6.7	0.64
機械器具卸売業	売上高	33.3	15.2	15.9	2.09
	付加価値額	29.4	13.0	15.9	1.85
	事業所数（事業所単位）	5.0	7.3	7.3	0.68
	従業者数（事業所単位）	33.4	8.4	10.4	3.21
飲食料品小売業	売上高	9.5	13.1	8.1	1.17
	付加価値額	15.4	16.8	13.7	1.12
	事業所数（事業所単位）	25.9	22.7	22.1	1.17
	従業者数（事業所単位）	19.3	30.9	26.2	0.74
その他の小売業	売上高	5.9	16.6	9.2	0.64
	付加価値額	10.0	23.4	15.8	0.63
	事業所数（事業所単位）	25.9	27.2	27.1	0.96
	従業者数（事業所単位）	16.7	21.5	20.5	0.81
機械器具小売業	売上高	25.4	10.8	6.7	3.79
	付加価値額	22.6	10.9	9.4	2.40
	事業所数（事業所単位）	12.4	11.4	10.5	1.18
	従業者数（事業所単位）	7.6	7.9	7.6	1.00

- STEP3で付加価値額の大分類（P14右上）上位「**学術研究、専門・技術サービス**」、「**卸売業、小売業**」、「**製造業**」を中分類（P15右上）でみると、それぞれ大きい業種は「**医療業**」、「**総合工事業**」、「**その他の教育、学習支援業**」となっている。
- 特化係数が1.0以上の産業は、全国や都県の水準値と比べた相対的な産業集積度が高く、他地域に比べて優位性の高い産業であるといえる。

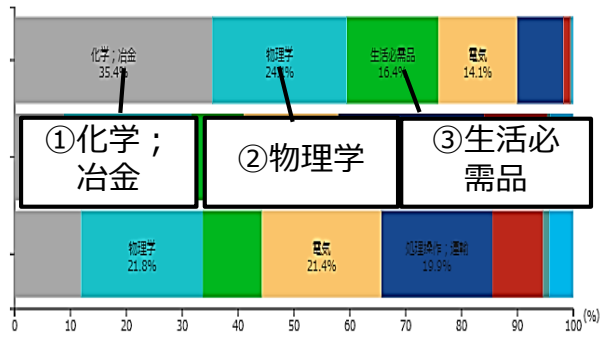
STEP5

主要産業における中核企業を抽出する

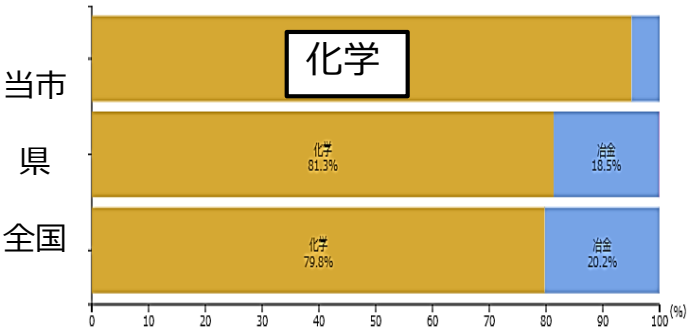
特許分布図にて個別企業の特許取得詳細を分析（2018年9月時点）

企業活動マップ
→研究開発
→特許分布図
RESASデータ加工

特許分野比率と割合



①化学; 冶金



特許一覧
(上位10社)

会社名	個数
国立研究開発法人理化学研究所	972
-	43
独立行政法人理化学研究所	31
株式会社メガオプト	21
ベルク工業有限会社	9
合同会社ジャパン・メディカル・クリエイティブ	8
橋詰機工株式会社	6
有限会社アリューズ	6
株式会社 ニッセイ	5
株式会社 フェーエンス	5
総計	1142

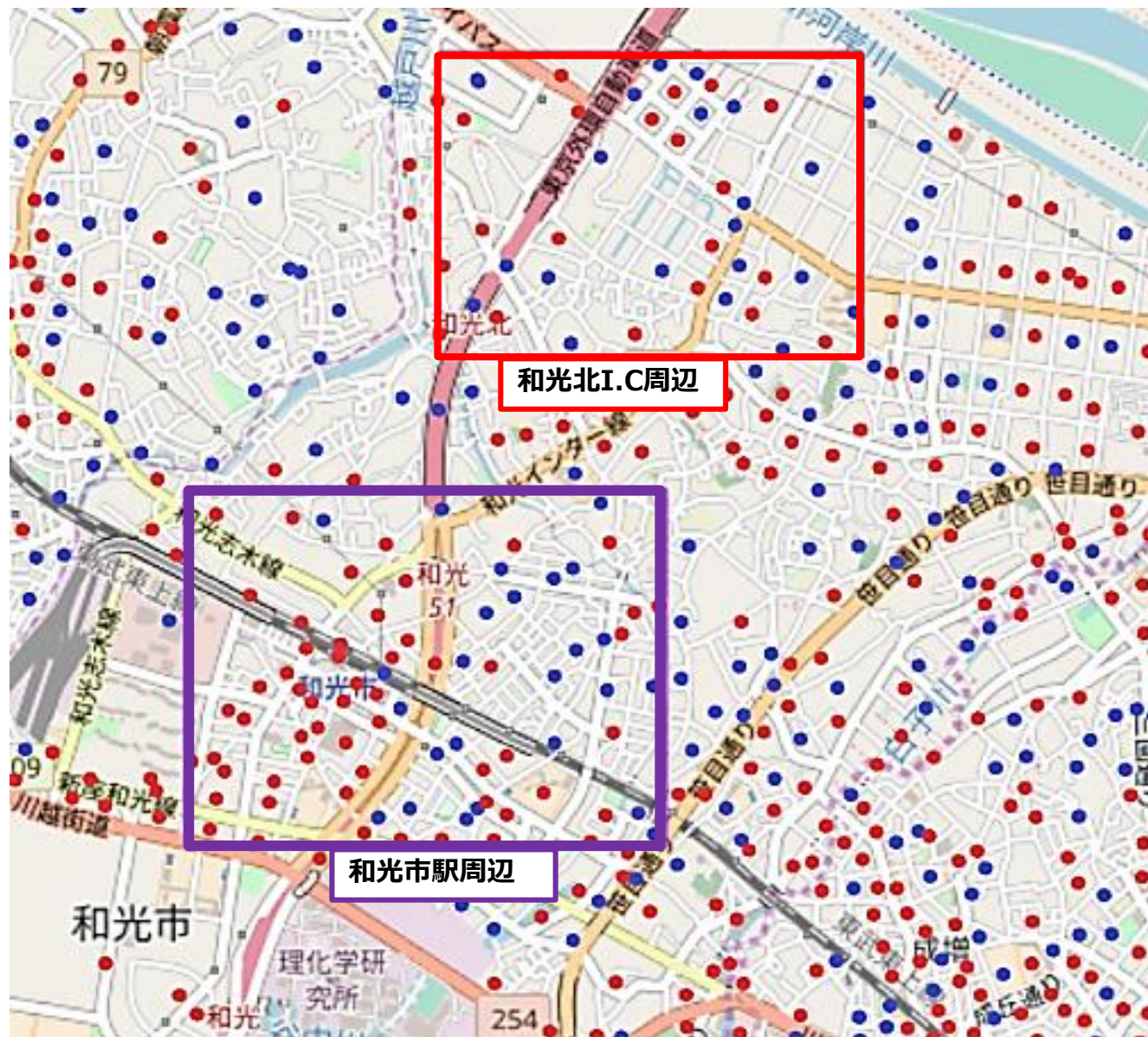
企業毎の特許詳細

会社名	主題事項名	個数
国立研究開発法人理化学研究所	化学	373
	器械	227
	電気	127
	健康; 人命救助; 娯楽	125
	その他主題事項	120
独立行政法人理化学研究所	電気	13
	器械	8
	その他主題事項	10
株式会社メガオプト	電気	10
	器械	9
	成形	2
総計		1142

* 会社名がーとなっている先は秘匿情報

事業所立地動向

まちづくりマップ
→事業所立地動向

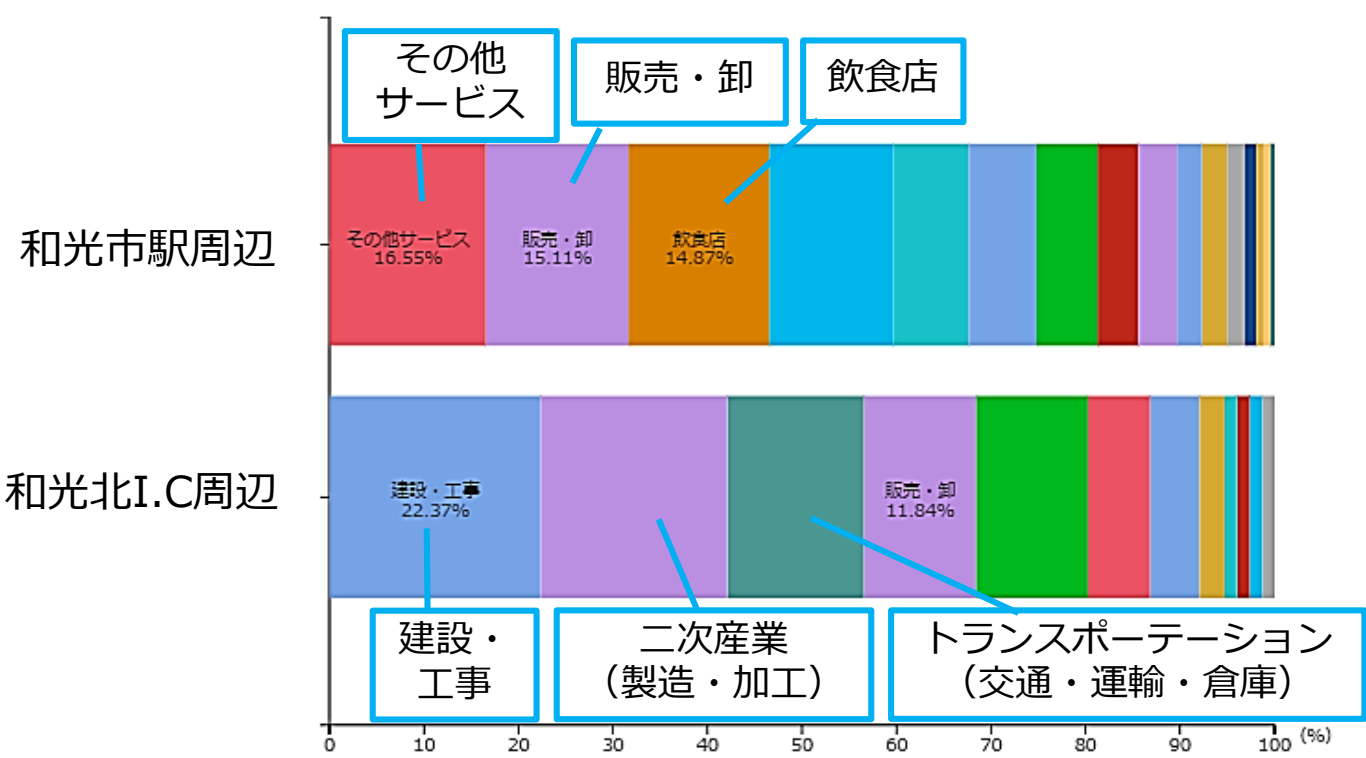


- 同一地点に事業所が1つ
- 同一地点に事業所が複数

STEP5 事業所立地動向（2018年）

産業割合

まちづくりマップ
→事業所立地動向



和光市駅周辺の事業所一覧（表示年：2018年）＊一部抜粋

抽出件数：417

都道府県	市区町村	産業大分類	産業中分類	産業小分類	事業所名	経過年数
埼玉県	和光市	パブリック（官公庁・団体・福祉）	福祉施設	福祉事務所	おやこ広場もくれんハウス	8
埼玉県	和光市	パブリック（官公庁・団体・福祉）	福祉施設	福祉事務所	和光市社会福祉協議会たまりばショップ	6
埼玉県	和光市	ライフライン（電気・ガス・通信・放送・新聞）	通信	携帯電話	ドコモショップ和光店	8
埼玉県	和光市	ライフライン（電気・ガス・通信・放送・新聞）	通信	携帯電話	a uショップ和光	2

STEP6

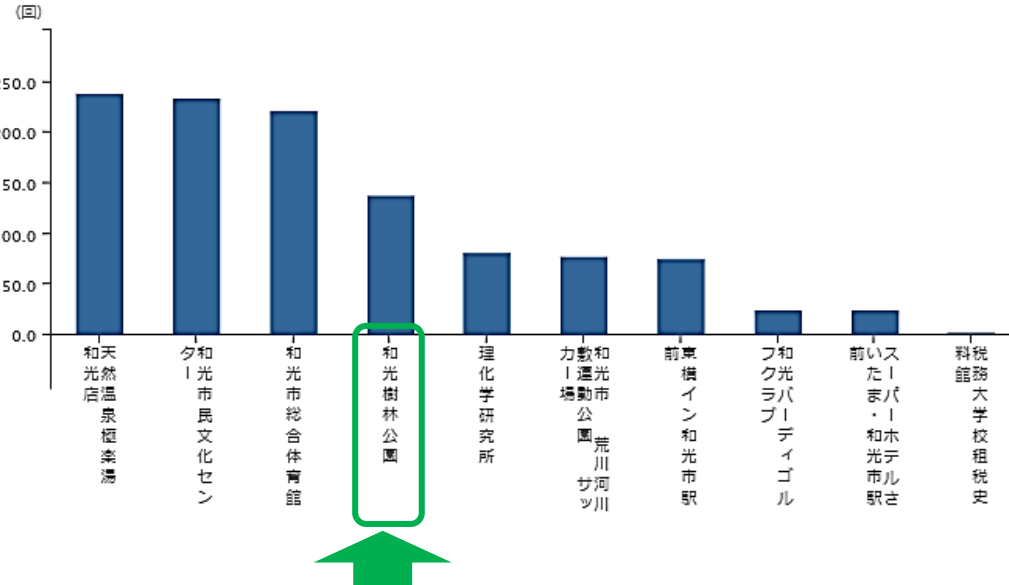


人の動きを分析する

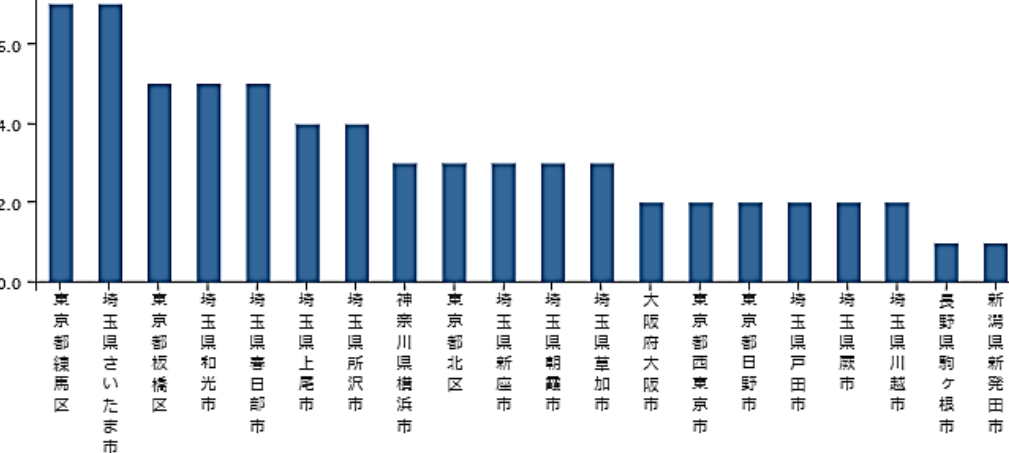
STEP6 目的地分析及び目的地への出発地一覧

観光マップ
→国内
→目的地分析

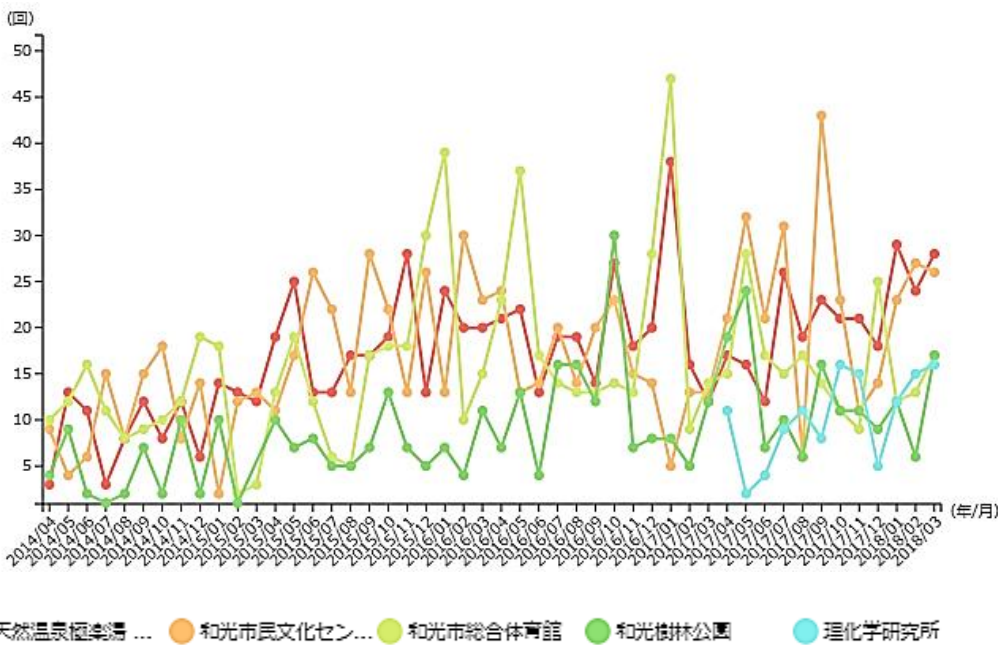
目的地一覧 交通手段：自動車
(2017年、休日)



目的地への出発地一覧 交通手段：自動車
(2017年、休日)

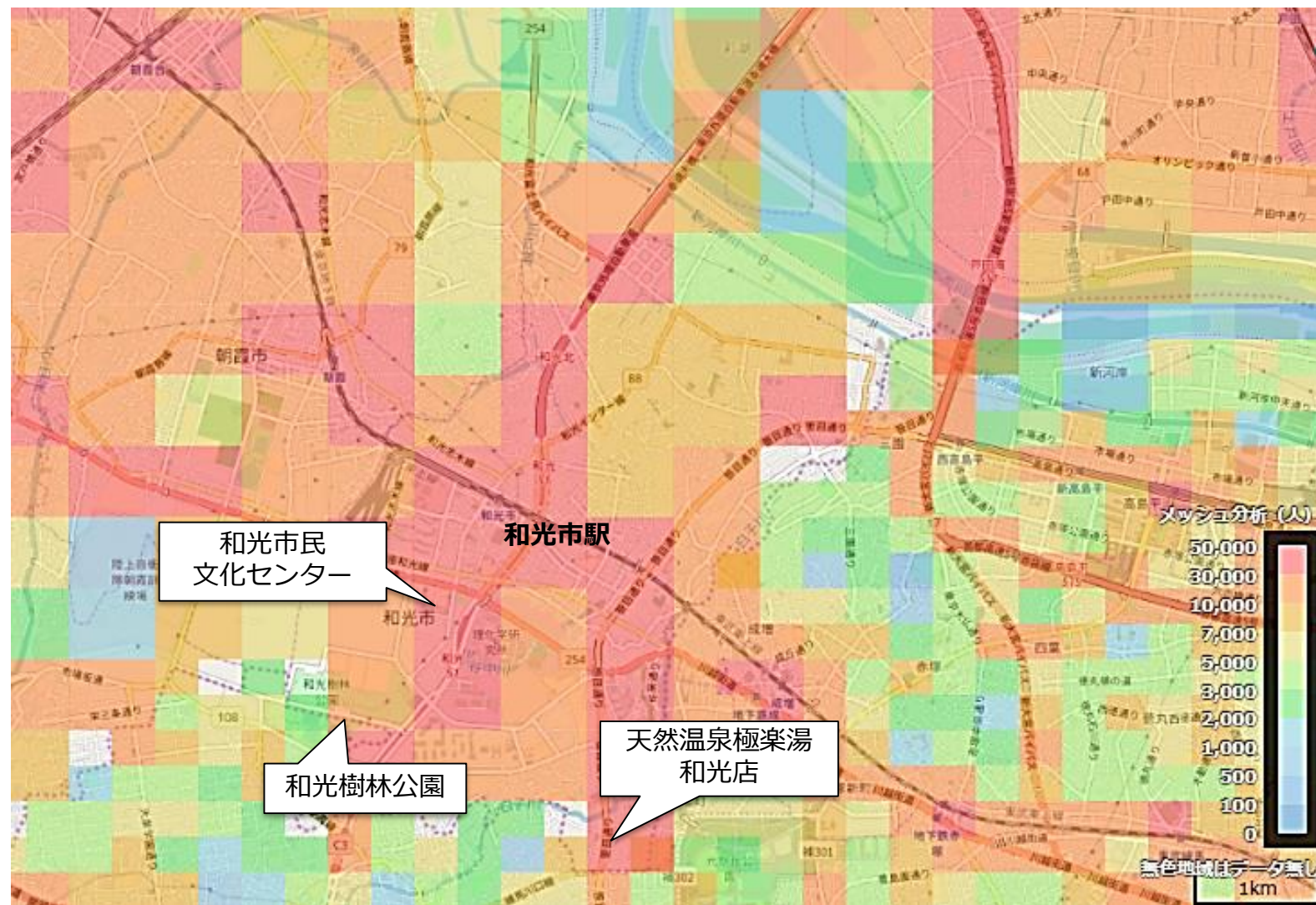


目的地検索ランキングの推移 交通手段：自動車
(2014年4月～2018年3月、休日)



出典：株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

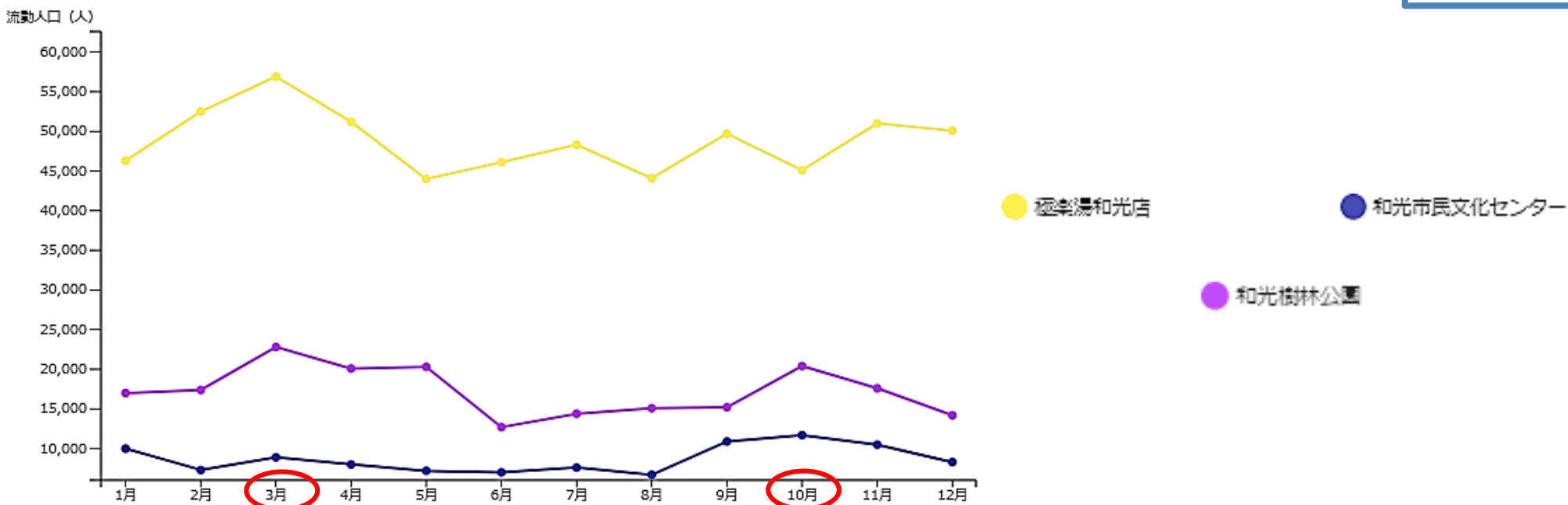
和光市周辺 メッシュ分析 流動人口（2017年6月、休日）



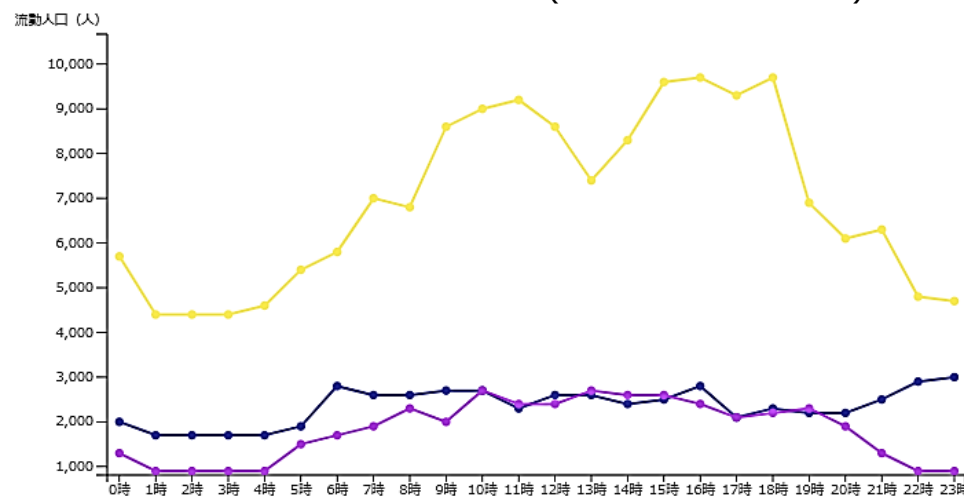
STEP6 メッシュ分析

まちづくりマップ
→流動人口メッシュ

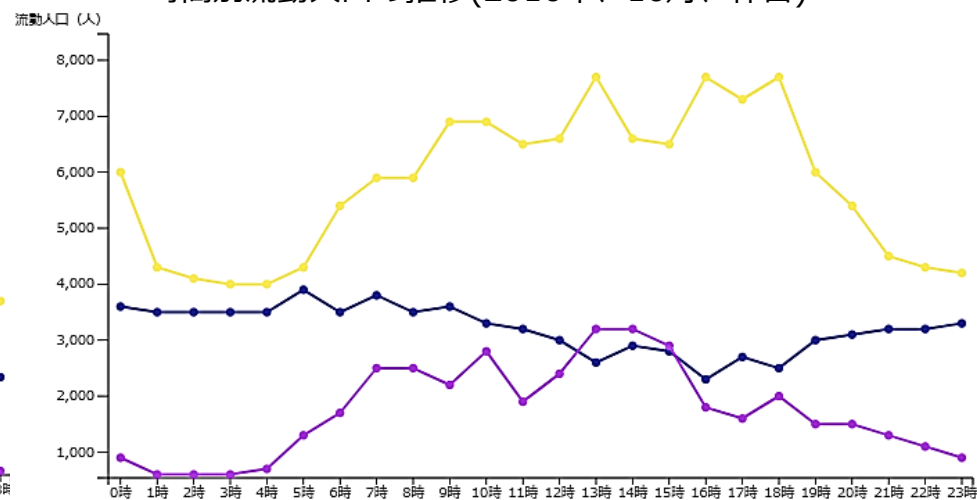
月別流動人口の推移（2016年、休日）



時間別流動人口の推移(2016年、3月、休日)



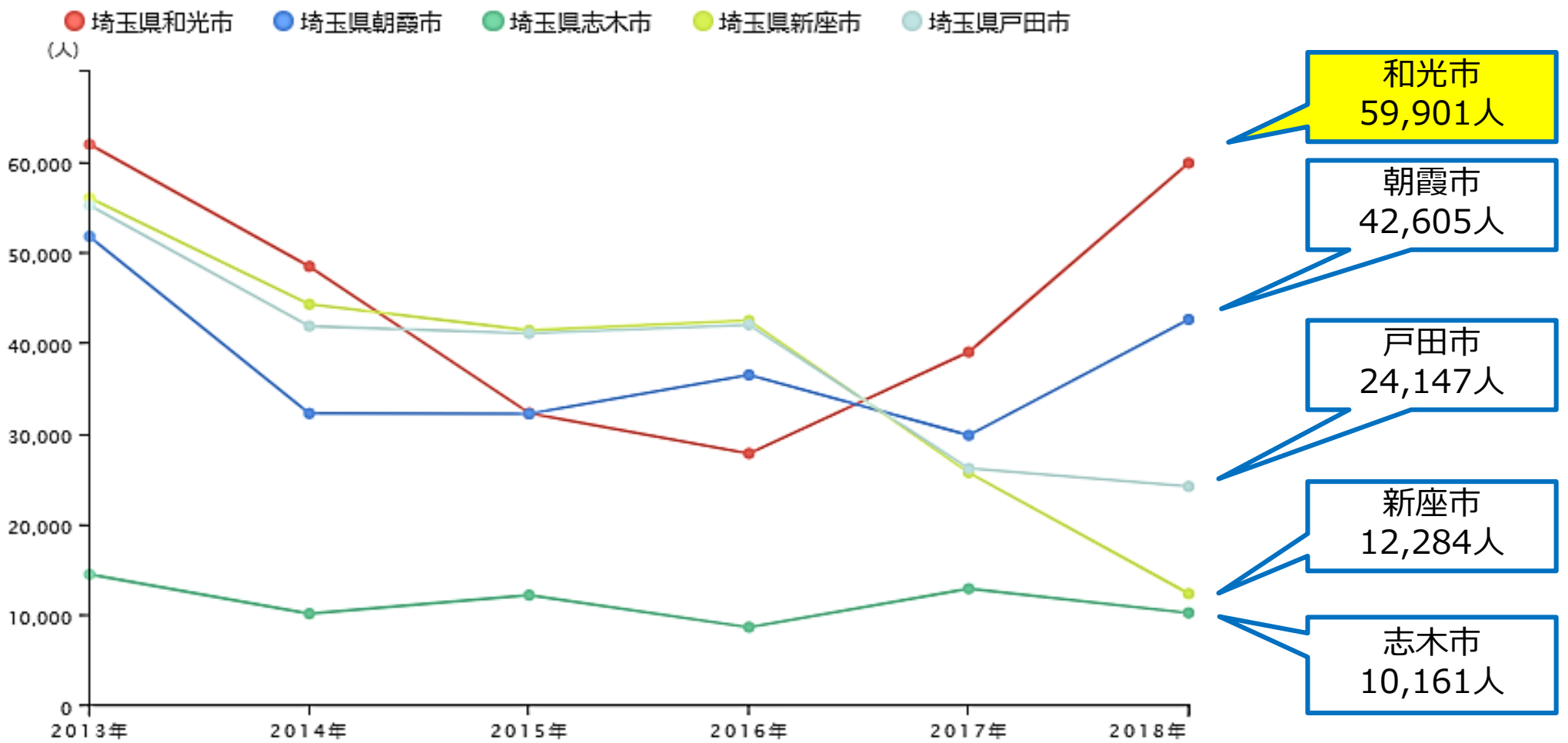
時間別流動人口の推移(2016年、10月、休日)



STEP6 延べ宿泊者数（総数）の推移

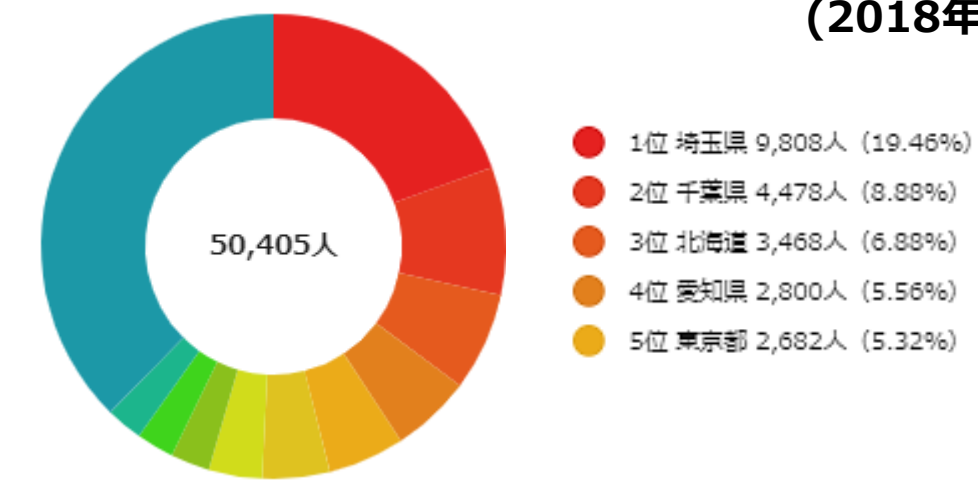
観光マップ
→国内
→From-to分析（宿泊者）

2018年実績



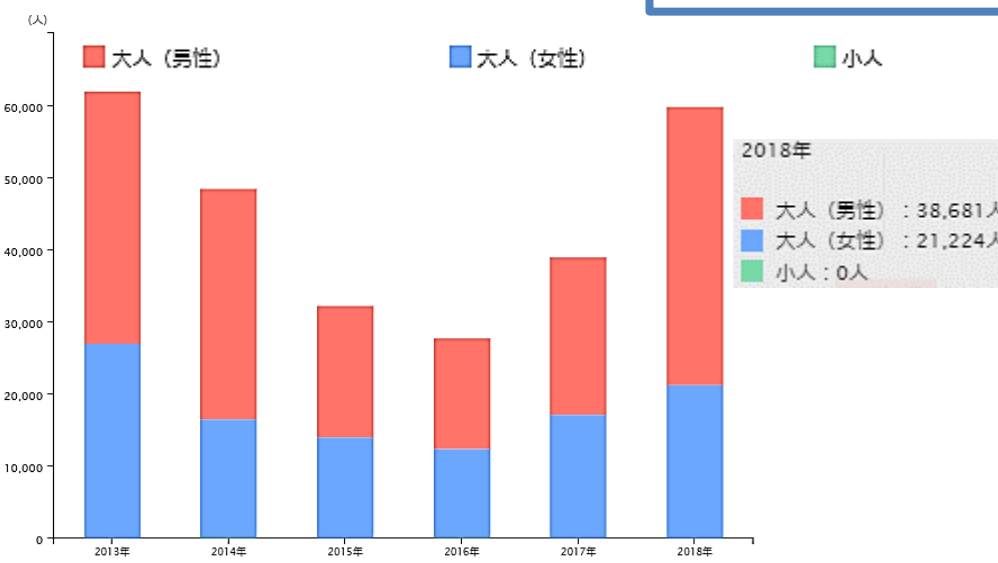
STEP6 都道府県別宿泊者数及び延べ宿泊者数（総数）の推移

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合（2018年）

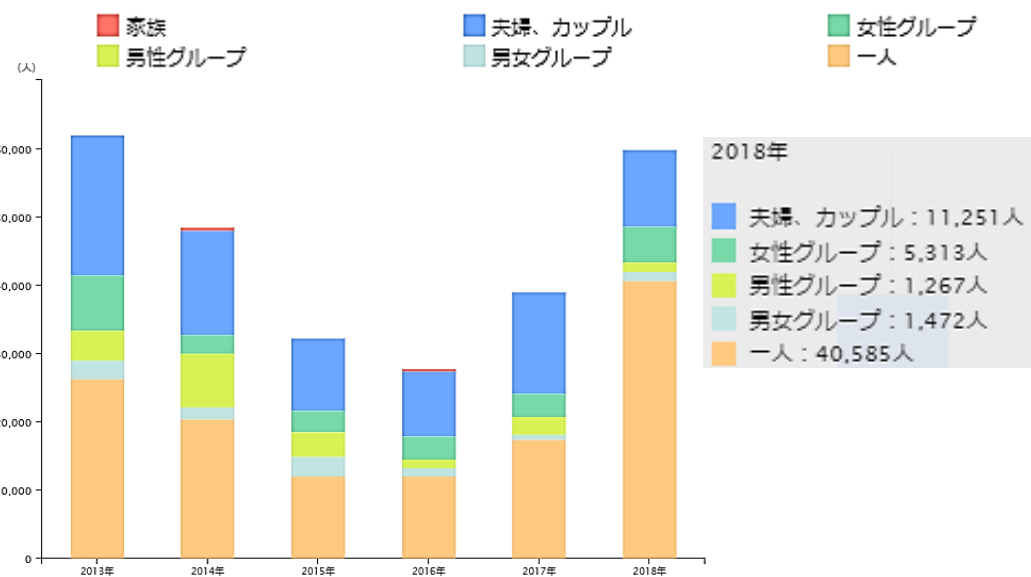


観光マップ
→国内
→From-to分析（宿泊者）

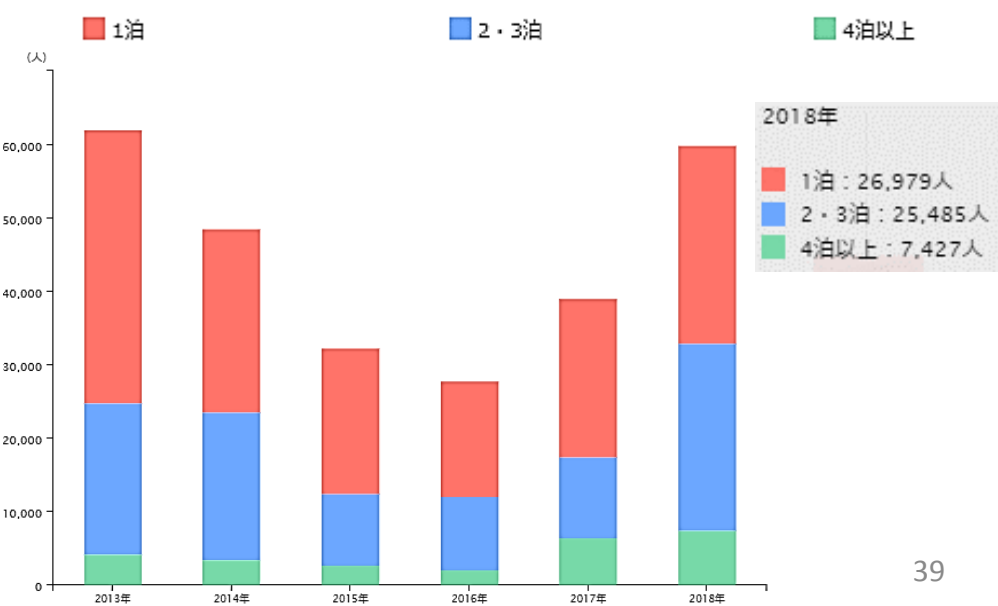
性別



参加形態別



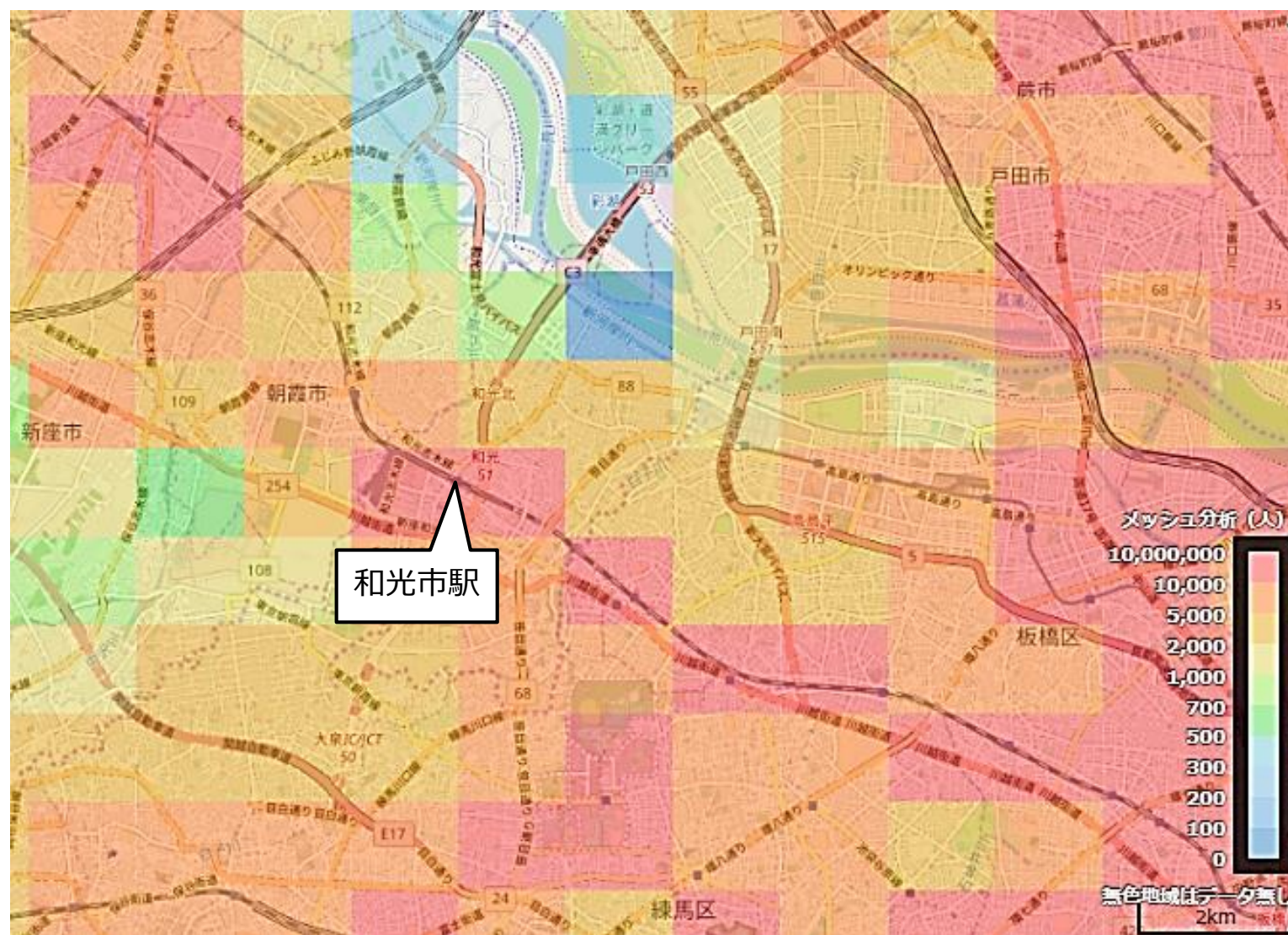
宿泊日別



出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

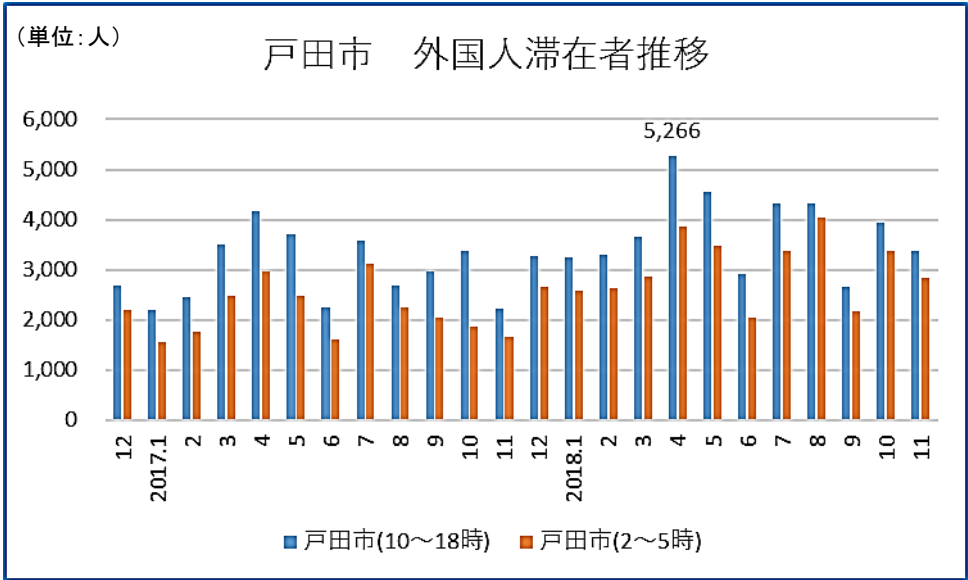
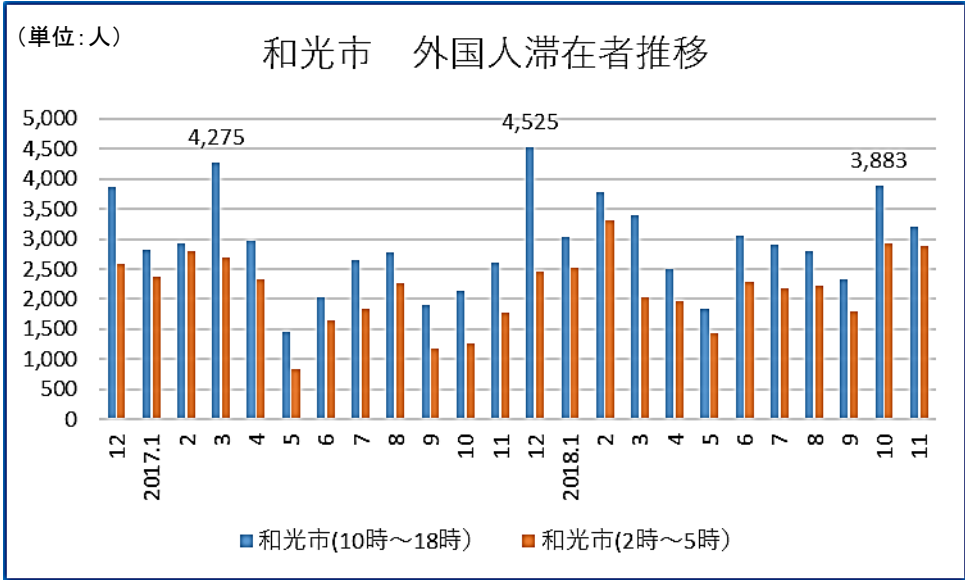
観光マップ
→外国人
→外国人メッシュ

流動人口 2017年8月～2018月7月

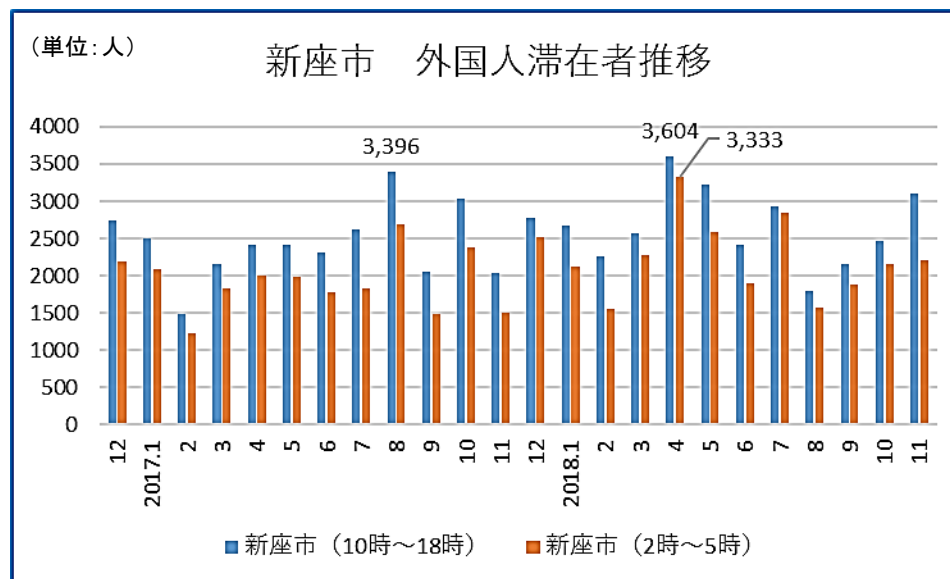
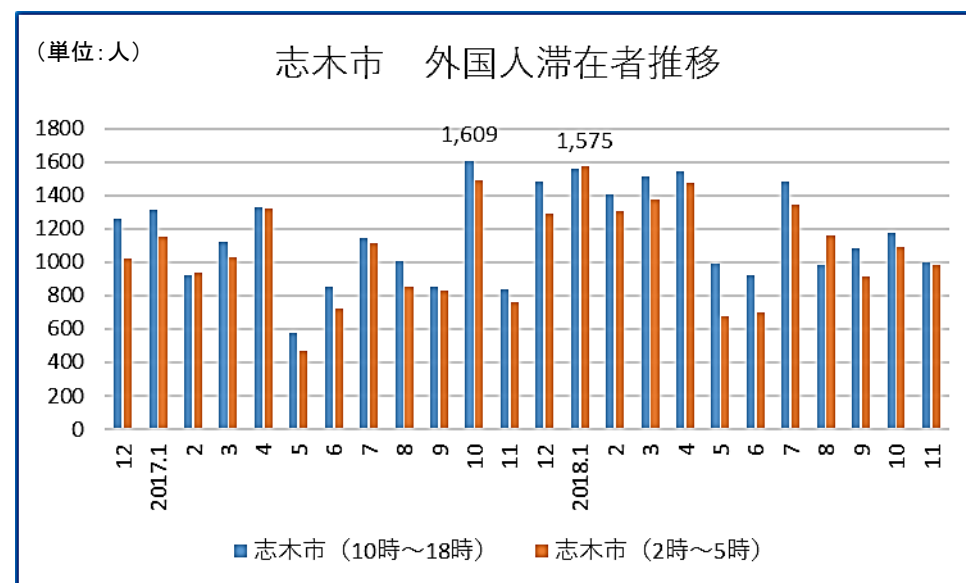
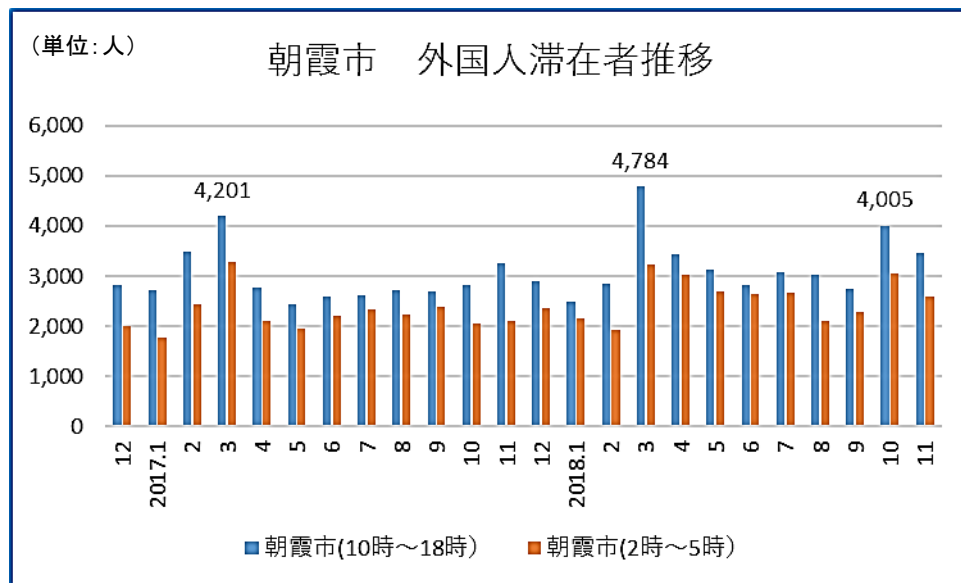


STEP6 外国人滞在推移（2016年9月～2018年8月）

観光マップ
→外国人
→外国人滞在分析
RESASデータ加工



STEP6 外国人滞在推移（2016年9月～2018年8月）



観光マップ
→外国人
→外国人滞在分析

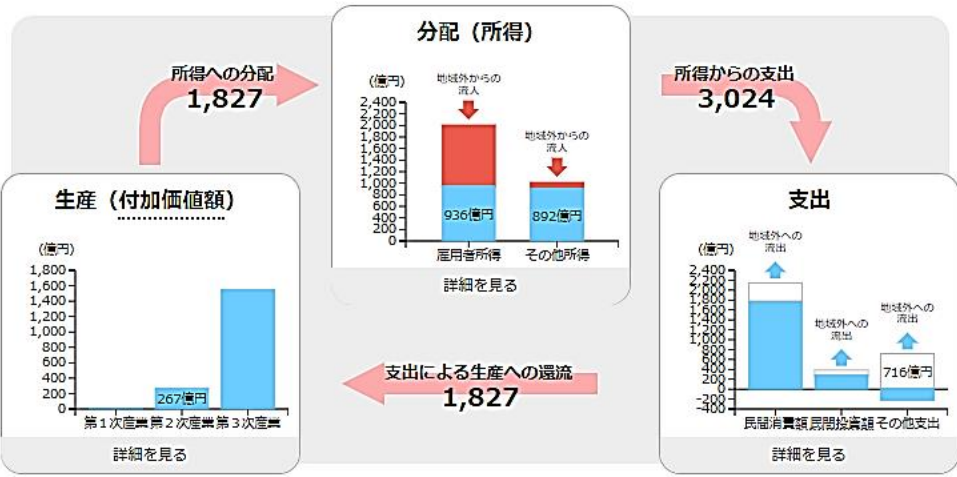
RESASデータ加工

(参考)

近隣5市比較

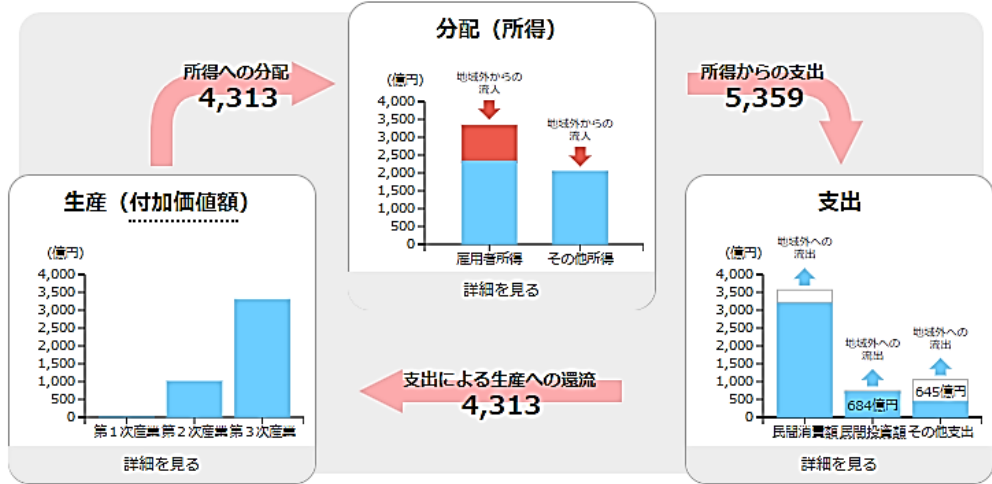
地域経済循環率
60.4%

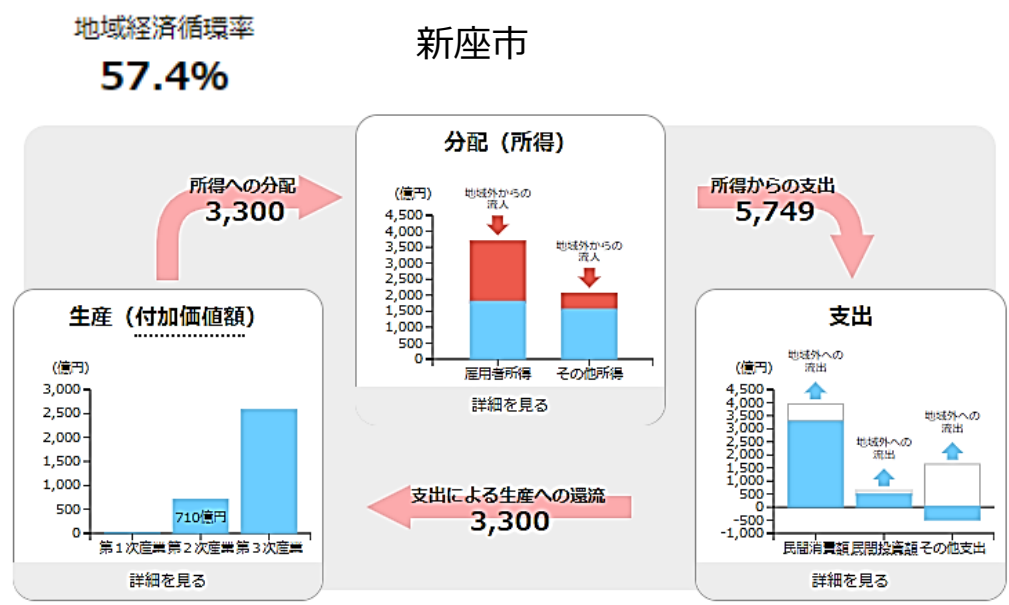
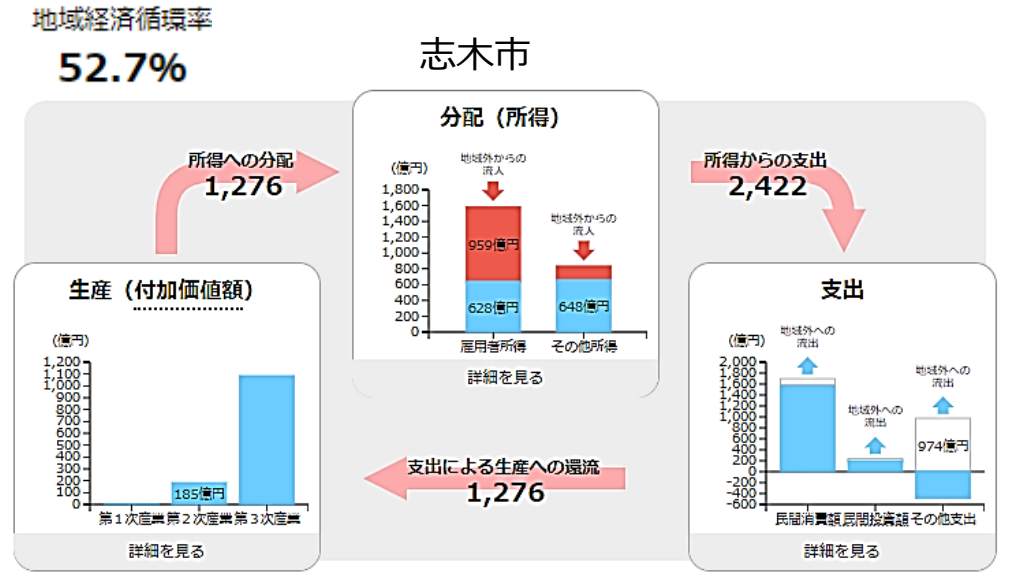
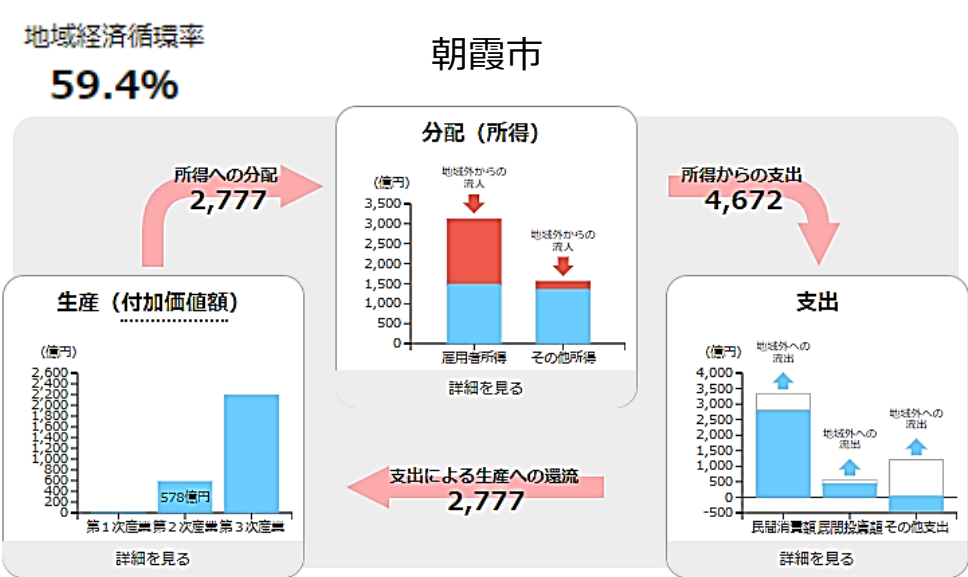
和光市



地域経済循環率
80.5%

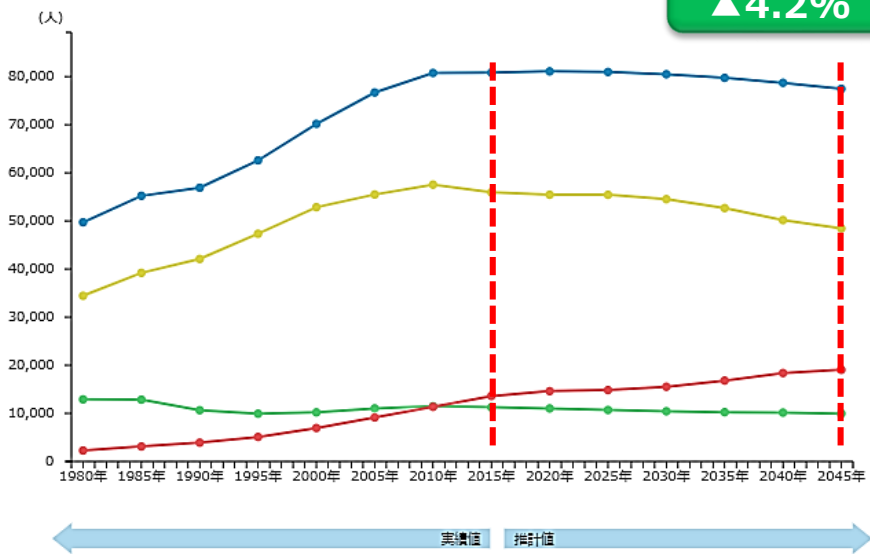
戸田市





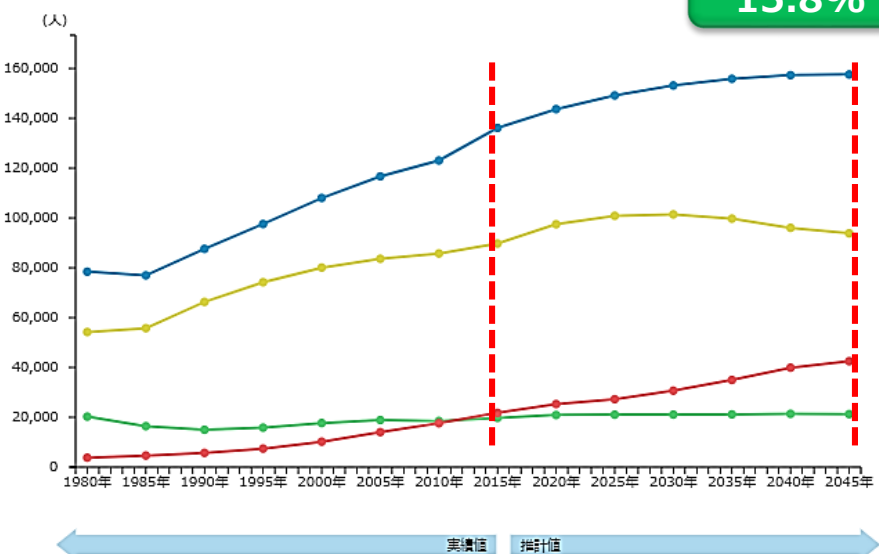
和光市
(80,826人)

総人口
▲4.2%



戸田市
(136,150人)

総人口+
15.8%



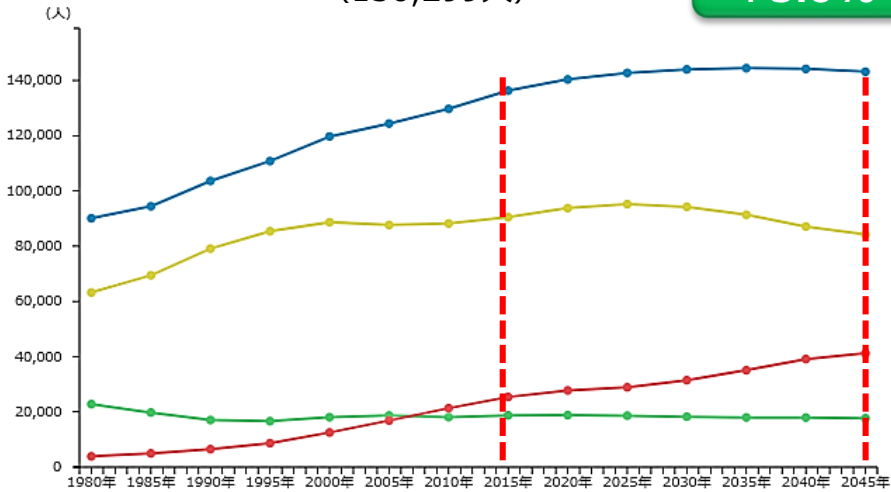
※各市町村名下のカッコ内の数字は2015年の総人口数 ※各グラフ右上の割合は2045年と2015年の総人口比較

出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

人口マップ
→人口構成

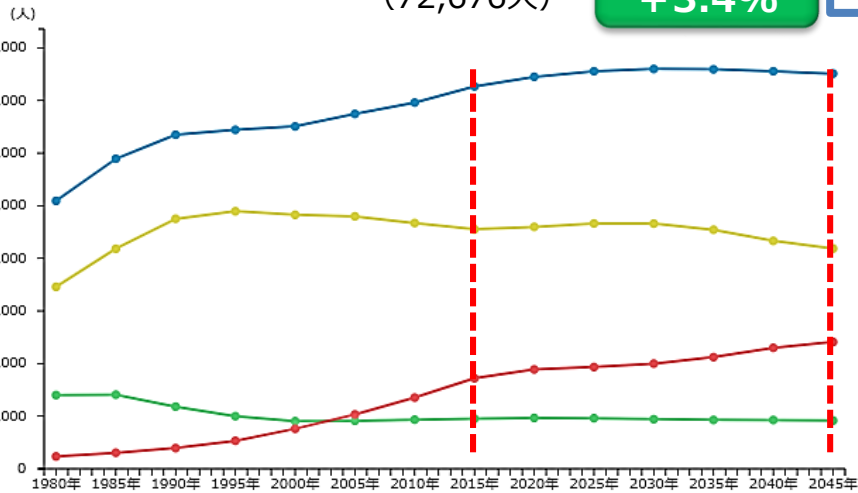
朝霞市
(136,299人)

総人口
+5.0%



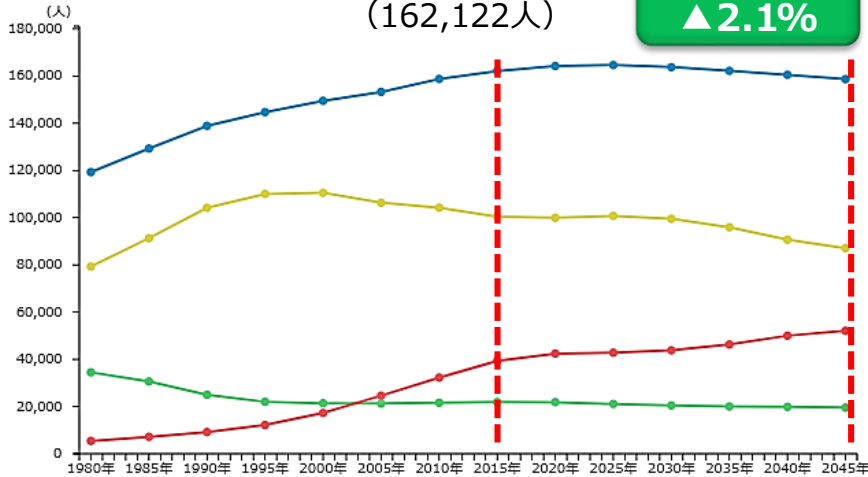
志木市
(72,676人)

総人口
+3.4%



新座市
(162,122人)

総人口
▲2.1%

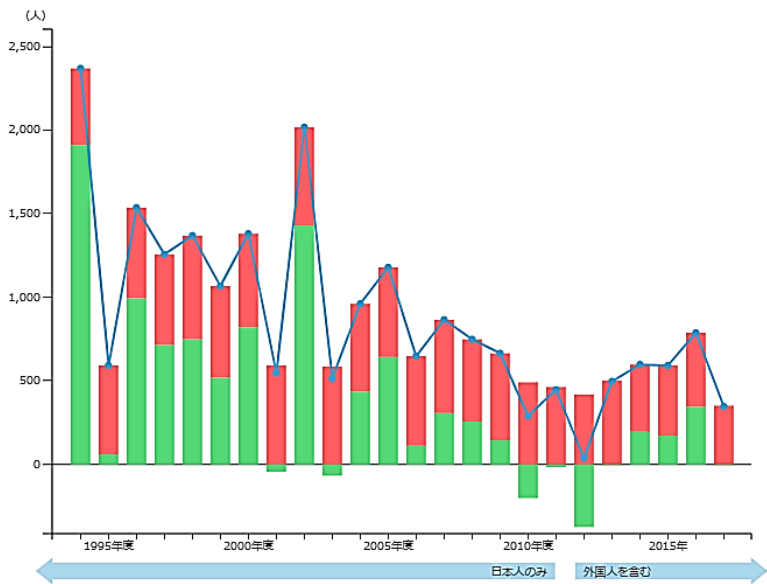


※各市町村名下のカッコ内の数字は2015年の総人口数 ※各グラフ右上の割合は2045年と2015年の総人口比較

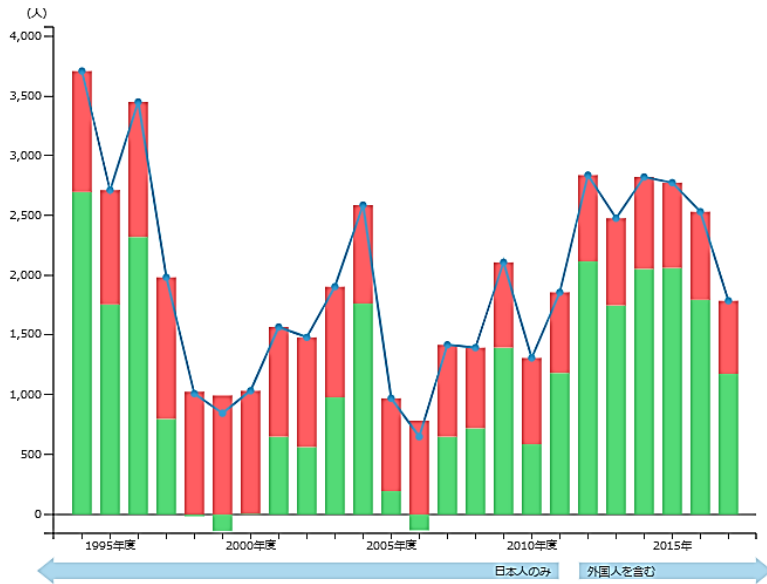
出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

人口マップ
→人口増減

和光市



戸田市

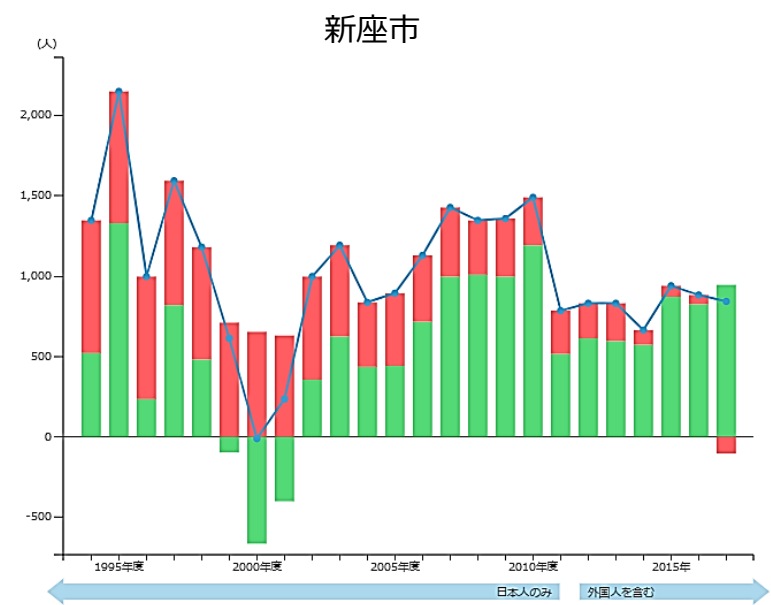
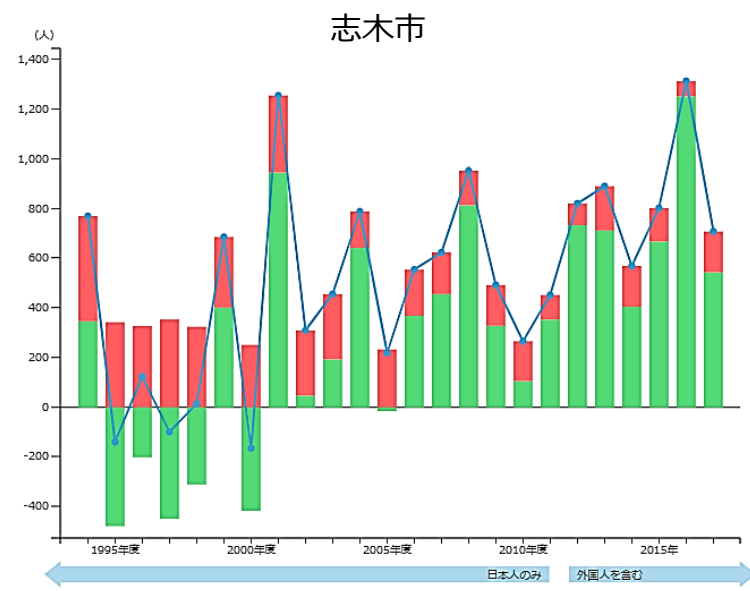
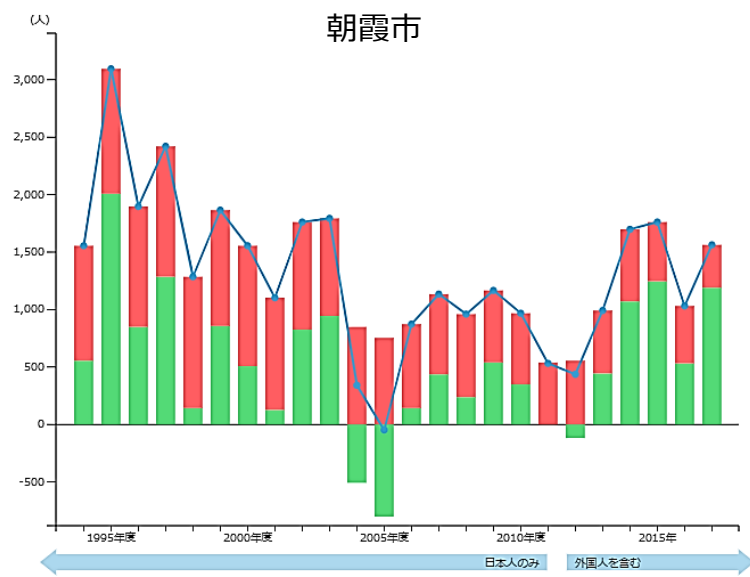


出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」
注記：2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

5市 人口の推移（自然増減・社会増減）

■ 自然増減数 ■ 社会増減数 ● 人口増減数

人口マップ
→人口増減



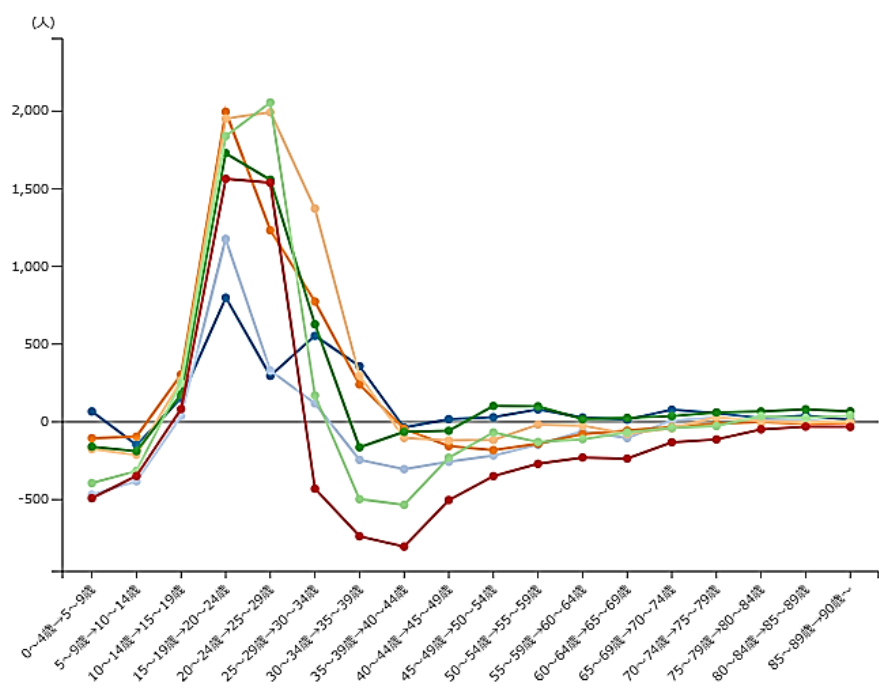
出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」
注記：2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

5市 年齢別人口分布の変化

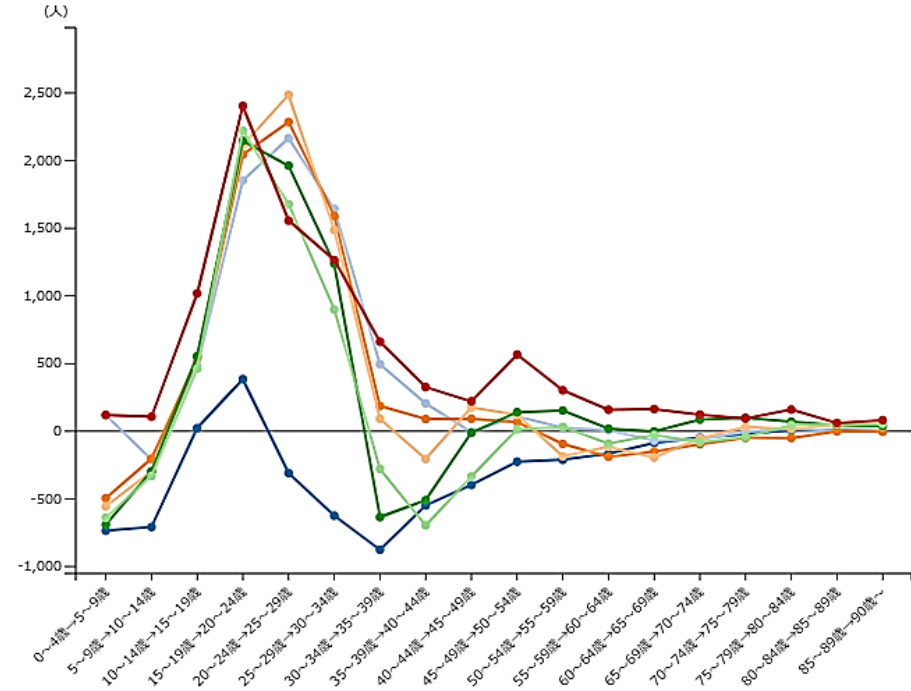
1980年→1985年 1985年→1990年 1990年→1995年 1995年→2000年 2000年→2005年 2005年→2010年
2010年→2015年

人口マップ
→人口の社会増減

和光市



戸田市



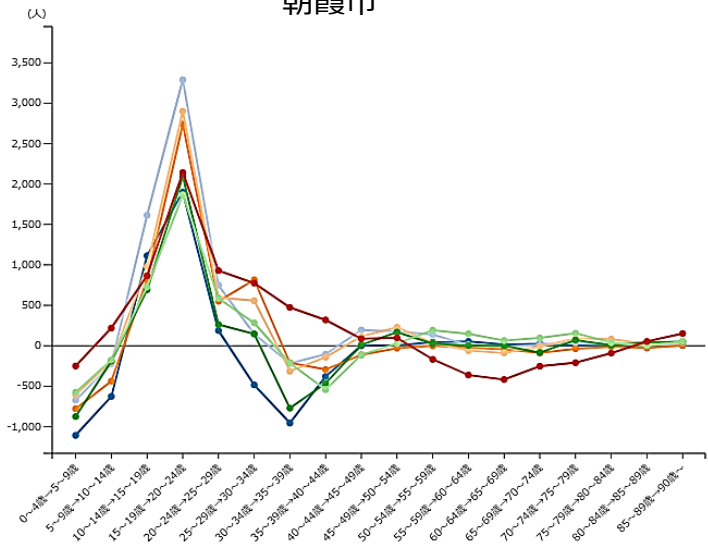
出典：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき、まち・ひと・しごと創生本部作成

5市 年齢別人口分布の変化

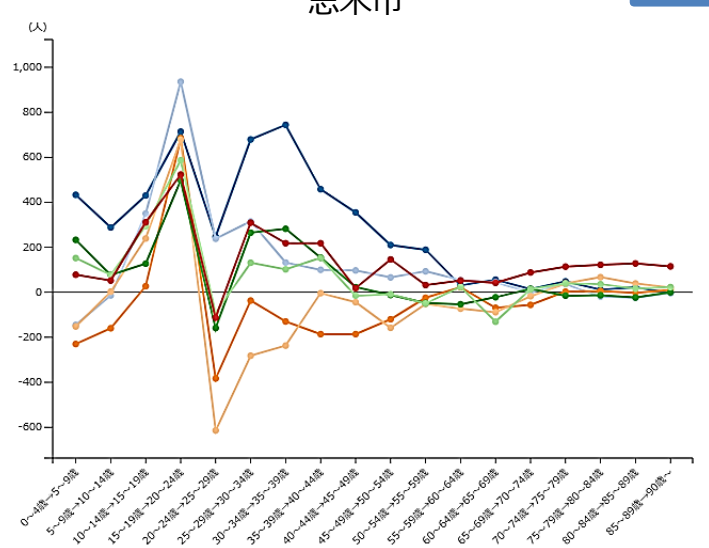
- 1980年→1985年
- 1985年→1990年
- 1990年→1995年
- 1995年→2000年
- 2000年→2005年
- 2005年→2010年
- 2010年→2015年

人口マップ
→人口の社会増減

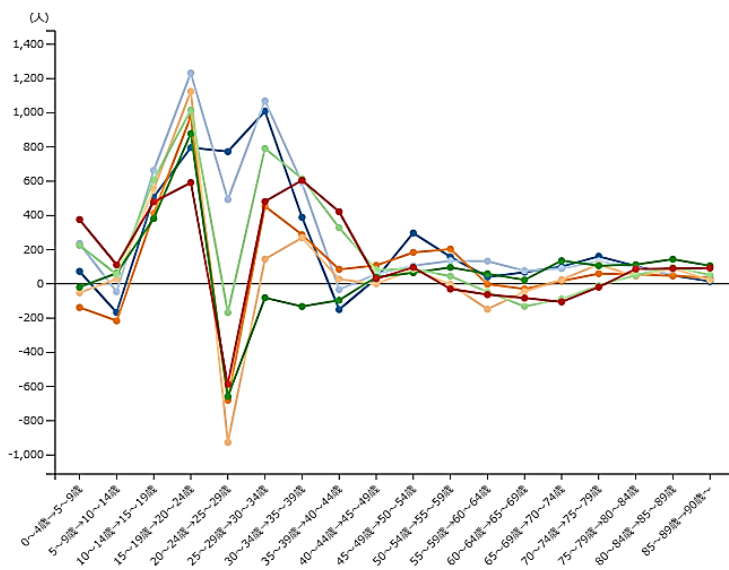
朝霞市



志木市



新座市



出典：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき、まち・ひと・しごと創生本部作成

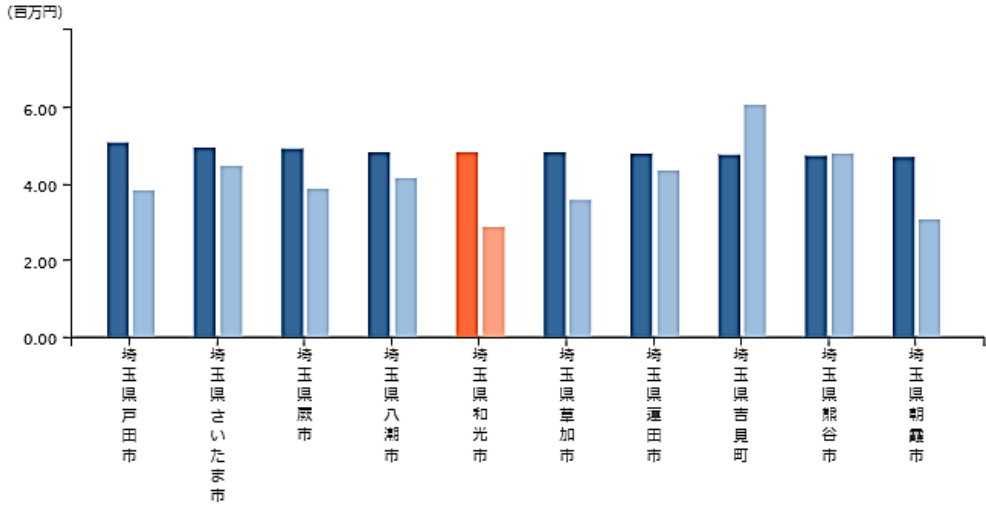
5市 一人あたり雇用者所得（2013年）

■ 地域住民ベース ■ 地域内勤務者ベース

地域経済循環マップ
→ 分配分析

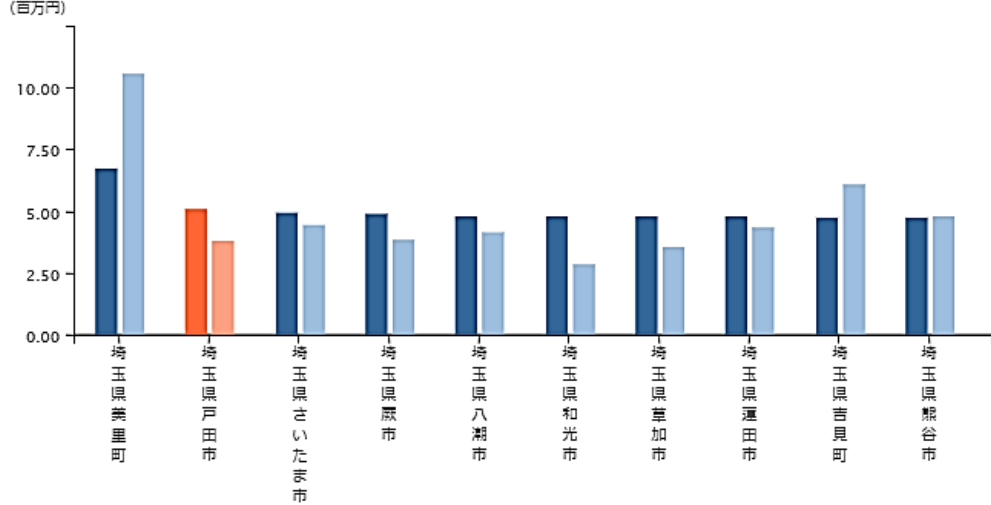
和光市

地域住民ベース： 4.85百万円
地域内勤務者ベース： 2.91百万円



戸田市

地域住民ベース： 5.11百万円
地域内勤務者ベース： 3.86百万円



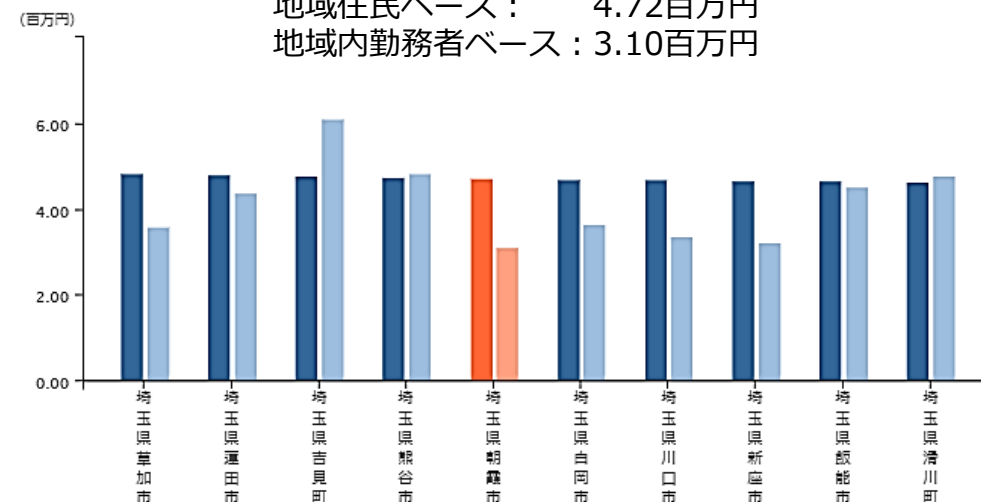
5市 一人あたり雇用者所得（2013年）

■ 地域住民ベース ■ 地域内勤務者ベース

地域経済循環マップ
→ 分配分析

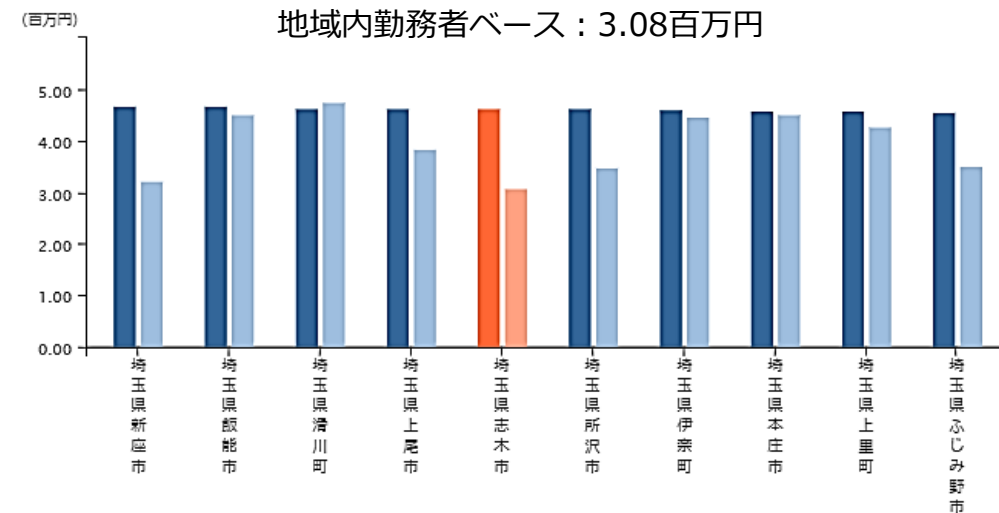
朝霞市

地域住民ベース： 4.72百万円
地域内勤務者ベース： 3.10百万円



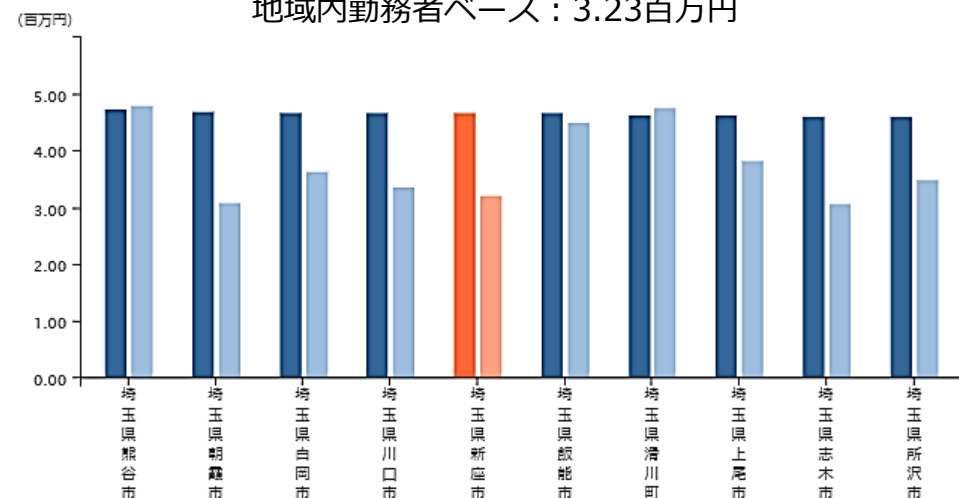
志木市

地域住民ベース： 4.63百万円
地域内勤務者ベース： 3.08百万円



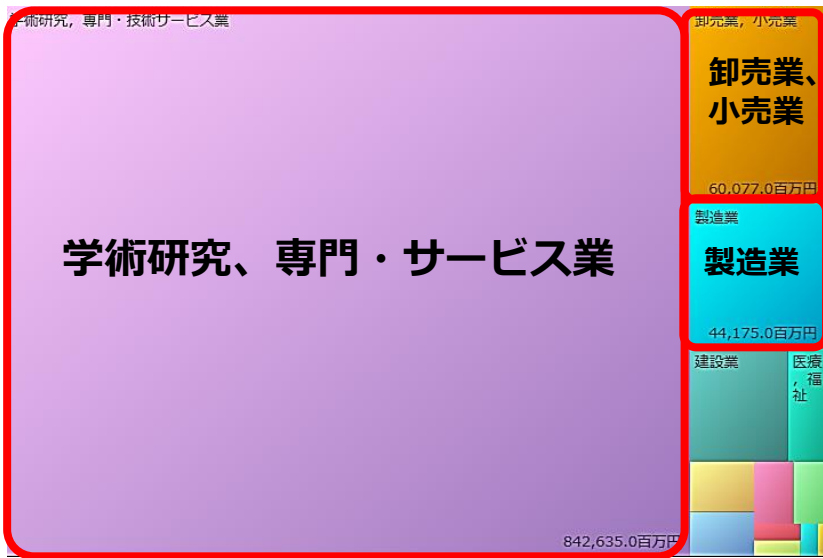
新座市

地域住民ベース： 4.68百万円
地域内勤務者ベース： 3.23百万円



和光市

1,010,676百万円



戸田市

939,021百万円

